

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) Ver.5.1.0.X

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L) Ver.5.1.0.X

■ 取扱説明書 ■

利用規約

本規約に同意戴いた場合のみダウンロード及び使用して戴くことができます。

1. 著作権

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) [以下本プログラムという]の著作権は株式会社ナカヨ通信機にある。
本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

2. 使用範囲

本プログラムの使用はシステムデータ設定及び電話帳データ設定に限る。

3. 複製の制限

使用にあたっての登録会社内にて、当社の製品の据付・メンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アSEMBル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、或いは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての登録会社はプログラムが記録或いは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利及び所有権は、当該オリジナル及び複製が存在する形態や媒体に拘らず、当社が保持する。

6. 機密保持

使用にあたっての登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意無しに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。更に、登録していない人物に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報(お客様のデータ設定、電話帳データ等)は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏洩、改ざん等の危険にさらされない様に取扱権限者の明確化等の組織的な対応、更に悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティ確保をすること。

【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

- ①使用目的:本プログラムを使用することにより、工事/保守時間の短縮を図ることを目的とする。
- ②お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。
- ③お客様データ、短縮ダイヤル情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、或いはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

9. 輸出

本プログラムまたは関連文献をいかなる形態においても輸出または再輸出しないこと。

— 目次 —

■第1部《概要編》

1. はじめに(必ずお読みください)	1-1
1-1 本プログラムの概要	1-1
1-2 パソコン側の条件	1-2
1-3 接続方法	1-2
1-4 本プログラムの新規インストール	1-4
1-5 本プログラムのバージョンアップ	1-4
1-6 本プログラムのアンインストール	1-5
1-7 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの注意事項	1-6
1-8 ダイアルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)	1-7
1-9 Q&A集	1-16

■第2部《パソコンデータ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ	2-1
2. プログラムの起動～主装置データアップロード	2-2
3. ユーザー情報設定	2-5
4. データ設定	2-6
●CSVファイルを利用するには	2-12
5. システムデータシート印刷	2-13
6. 主装置データダウンロード～プログラムの終了	2-17
7. 主装置交換時の処置方法	2-19

■第3部《パソコンリモートサービス編》

1. 本プログラムの操作の流れ	3-1
2. プログラムの起動	3-2
3. ユーザー情報設定	3-3
4. リモート主装置データアップロード／リモート短縮データアップロード	3-4
5. データ設定	3-7
6. システムデータシート印刷	3-13
7. リモート主装置データダウンロード／リモート短縮データダウンロード～プログラムの終了	3-15
8. お客様と通話後にリモートサービスを行うとき	3-19

※本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。また、内容的に違いがない場合は、Windows® XPの画面で記載しています。

- Windows® 98SEはMicrosoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
- Windows® XPはMicrosoft® Windows® XP operating systemの略です。
- Windows Vista®はMicrosoft® Windows Vista® operating systemの略です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 第1部 《概要編》

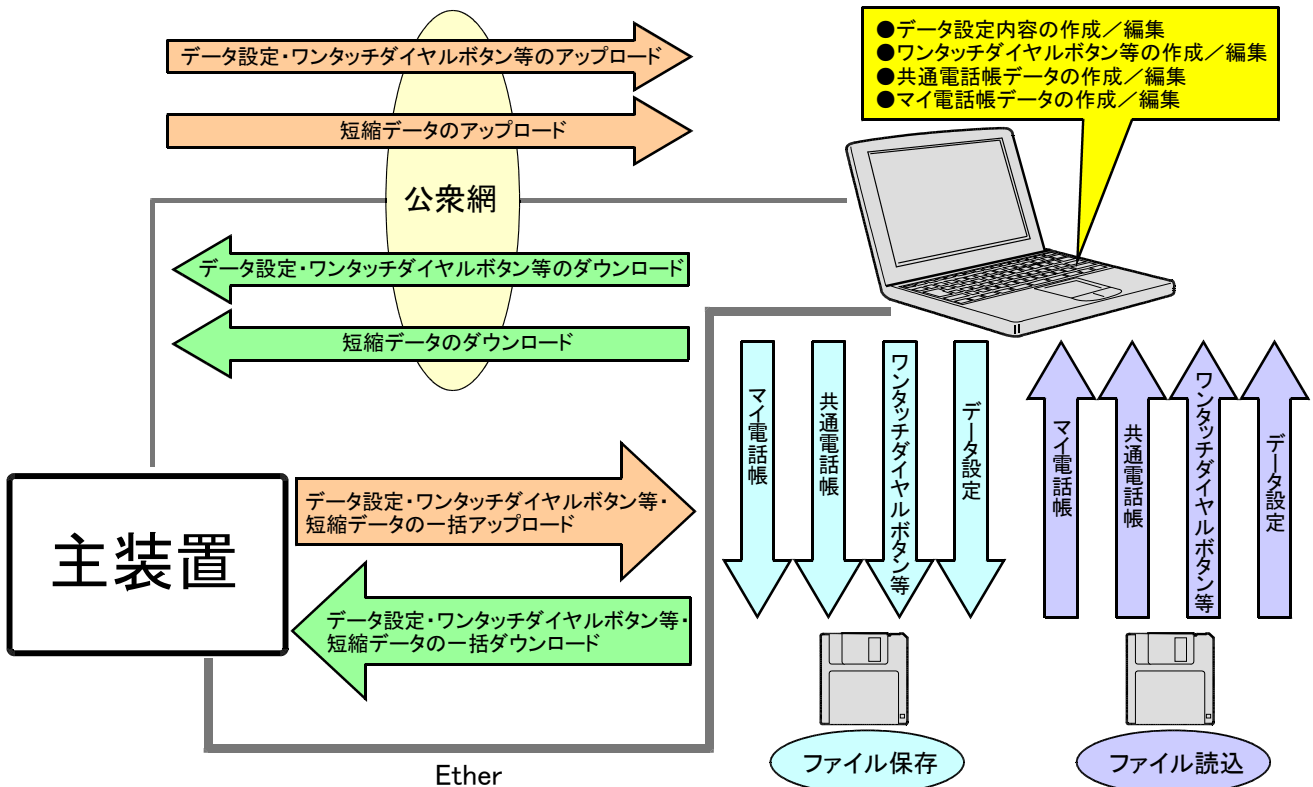
1. はじめに(必ずお読みください)

1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

■ パソコン データ 設定 ⇒詳細は第2部参照	●主装置のデータをパソコンにアップロードする データ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、短縮データを一括で吸い上げます。 新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。
	●パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読みも可能です。 「工事・保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。
	●パソコン上でワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読みも可能です。
	●パソコン上で共通電話帳・マイ電話帳データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読みも可能です。
	●パソコン上のデータを主装置にダウンロードする データ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、短縮データを一括で書き込みます。
■ パソコンリモートサービス ⇒詳細は第3部参照	●主装置のデータを公衆回線を使ってパソコンにアップロードする 主装置を直接接続する場合と異なり、データ設定(ワンタッチダイヤルボタン等のデータを含む)のアップロード、短縮データのアップロードは別々に行います。 新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。
	●パソコン上で主装置のデータ設定内容を作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読みも可能です。 「工事・保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。
	●パソコン上でワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読みも可能です。
	●パソコン上で共通電話帳・マイ電話帳データを作成する* 作成内容のファイル保存やファイルからの読みも可能です。
	●パソコン上のデータを公衆回線を使って主装置にダウンロードする 主装置を直接接続する場合と異なり、データ設定(ワンタッチダイヤルボタン等のデータを含む)のダウンロード、短縮データのダウンロードは別々に行います。

*: パソコン単独でも各種データの作成、ファイル保存、ファイルからの読みも可能です。(事前に設定ファイルを作成するときなど)

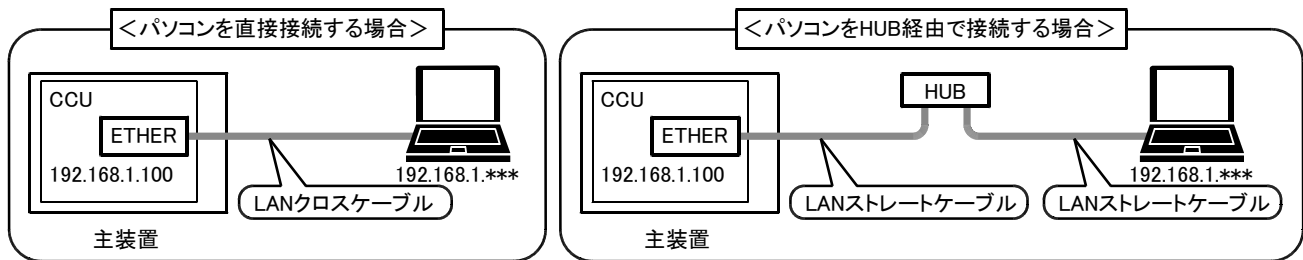


1-2 パソコン側の条件

- (1)パソコン: DOS/V(PC-AT互換機)
 - (2)OS: Windows[®] 98SE 日本語版、Windows[®] Me 日本語版、Windows[®] 2000 日本語版、Windows[®] XP Home Edition 日本語版、Windows[®] XP Professional 日本語版、Windows Vista[®] Ultimate 日本語版、Windows Vista[®] Business 日本語版、Windows Vista[®] Home Premium 日本語版、Windows Vista[®] Home Basic 日本語版、Windows Vista[®] Enterprise 日本語版
 - (3)CPU: Intel[®] Celeron[™] 500MHz相当以上 (Windows[®] 98SE、Me、2000) / Intel[®] Celeron[™] 1GHz相当以上 (Windows[®] XP) / Intel[®] Celeron[™] 1.7GHz相当以上 (Windows Vista[®])
 - (4)必要メモリ容量: 256MB以上 (Windows[®] 98SE、Me) / 128MB以上 (Windows[®] 2000) / 256MB以上 (Windows[®] XP) / 512MB以上 (Windows Vista[®])
 - (5)ハードディスク容量: 100MB以上(セットアップ時)
 - (6)画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
 - (7)必要なハードウェア: Etherポート
- ◆パソコンリモートサービスを行う場合は、アナログ回線用のモデムが必要です。(ISDN回線を使用する場合は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータも必要です。ターミナルアダプタ/ダイヤルアップルータのアナログポートにパソコンのモデムを接続します。)
- ※お客様と通話後にパソコンリモートサービスを行う場合のモデムは、外付けの単独電話機からダイヤル後にモデムへの接続切替が可能な機種のみです。
- 接続確認済機種 : (株)アイ・オー・データ機器製「DFML-560EL」(生産中止機種)、「DFML-560EM」(生産中止機種)
(Windows Vista[®] には対応していません)

1-3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



ご注意

- 主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、データ設定により環境に合わせてIPアドレス変更してください。
⇒詳細は、「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド * 9400を参照
- 使用するパソコンの条件…LANカード/LANボード装着済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済、ブラウザ:「Internet Explorer 6.0」以上
- 使用するパソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。
例: 主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.***」を設定します(3オクテットまで同一にする)。
- 使用するパソコンの「ファイアウォール」の設定はおこなわないでください。正常にアップロード、ダウンロードできなくなります。(Windows[®] XP、Windows Vista[®]のみ)
 - Windows[®] XPの場合
 - ①[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の[ネットワーク接続]をクリックする(カテゴリ表示の場合)
[コントロール パネル(C)]から[ネットワーク接続]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)
 - ②『ネットワーク接続 画面』の[ローカル エリア接続]を右クリックし、[プロパティ(R)]をクリックする
 - ③『ローカル エリア接続のプロパティ 画面』の[詳細設定]タブをクリックする
 - ④ をクリックすると『Windows ファイアウォール 画面』となるので、「無効 (推奨されません) (F)」を選択し、 をクリックする(Windows[®] XP SP2の場合)
「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外し をクリックする(Windows[®] XP SP2より古い場合)
 - ◆Windows[®] XP SP2でカテゴリ表示の場合は、下記の操作も可能です。
 - ①[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)
 - ②『Windows ファイアウォール 画面』で「無効 (推奨されません) (F)」を選択し、 をクリックする
 - Windows Vista[®]の場合
 - ①[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット]をクリックし、[Windows ファイアウォール]をクリックする(カテゴリ表示の場合)
[コントロール パネル(C)]から[セキュリティ センター]をクリックし、『セキュリティ センター 画面』の[Windows ファイアウォール]をクリックする(クラシック表示の場合)
 - ②『Windows ファイアウォール 画面』の[設定の変更]をクリックし、[詳細設定]タブをクリックする
 - ③『ネットワーク接続の設定』で、[ローカルエリア接続]のチェックを外し、 をクリックする※パソコンリモートサービスをご利用の場合には、[ローカルエリア接続]の他に、リモートサービス用のネットワーク設定に関しても同様にチェックを外してください。
- 「Internet Explorer」は下記の設定を行ってください。「パソコンリモートサービス」を行うときも④、⑤以外の設定が必要です。
 - ①[ツール(T)]メニューから[インターネット オプション(O)]をクリックする
 - ②『インターネット オプション 画面』の[全般]タブにある「インターネット一時ファイル」の をクリックする
 - ③『設定 画面』の「保存しているページの新しいバージョンの確認:」の下の「ページを表示することに確認する(E)」を選択し、 をクリックする
 - ④『インターネット オプション 画面』の[接続]タブにある をクリックする
 - ⑤『ローカル エリア ネットワーク(LAN)の設定 画面』の「プロキシ サーバー」の下の「ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)」をチェックし、 をクリックする
または、「LANにプロキシ サーバーを使用する」はチェックを入れずに、 をクリックする(通常はプロキシサーバーを使用しているLANに接続しないパソコンの場合)
 - ⑥『インターネット オプション』画面の をクリックする
- 本プログラムを使用するときは、他のアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足ため、サーバが起動しませんでした。」のエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。
- 上記は、一例を示しており、お使いのOSのバージョンにより異なる場合があります。

1-4 本プログラムの新規インストール

初めて本プログラムをインストールする手順は下記のとおりです。

①ダウンロードしたファイルを実行します。

②以降、画面の指示に従ってください。

●標準インストール先

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA)の場合 …「C:¥Program Files¥RPCA_M」

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L)の場合…「C:¥Program Files¥RPCA_L」

●プログラム名

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA)の場合 …「DDUPA-RPCA.exe」

パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L)の場合…「DDUPA-RPCAL.exe」

※本プログラムをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

●本プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラ等で、上記インストール先のフォルダにある本プログラムのファイルを右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。

※本プログラム起動後の『メイン画面』でもバージョンが表示されます。

★Windows® 2000、★Windows® XP、★Windows Vista® のパソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。

1-5 本プログラムのバージョンアップ

以前、本プログラムを使用していて、最新版にバージョンアップする手順は下記のとおりです。

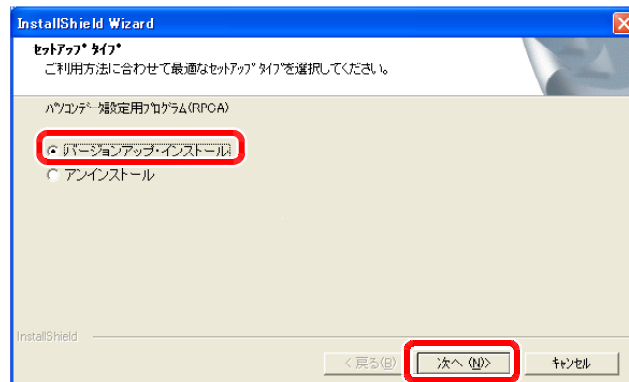
①ダウンロードしたファイルを実行します。

②しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。

「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>**をクリックしてください。

③以降、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



ご注意

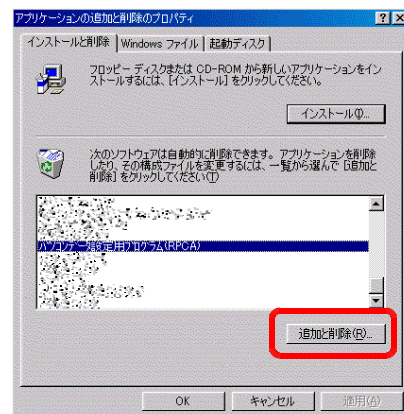
★Windows Vista® をご使用で本アプリケーションのインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して**続行**をクリックしてください。

1-6 本プログラムのアンインストール

本プログラムをパソコンから削除する場合は、下記の手順で行います。

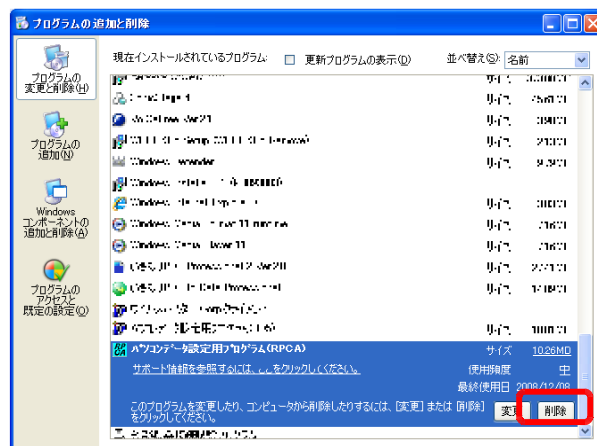
■Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 の場合

- ① [マイコンピュータ] ⇒ [コントロールパネル] ⇒ [アプリケーションの追加と削除] を選択します。
- ② 削除したいプログラムを選択し、**追加と削除(R)** (Windows® 2000 の場合は **変更と削除(C)**) をクリックします。
(右図はWindows® 98SE の例)



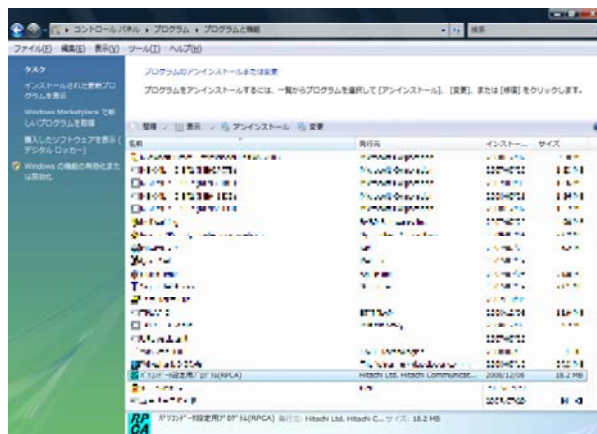
■Windows® XP の場合

- ① [マイコンピュータ] ⇒ [コントロールパネル] ⇒ [プログラムの追加と削除] を選択します。
- ② 削除したいプログラムを選択し、**変更と削除** をクリックします。

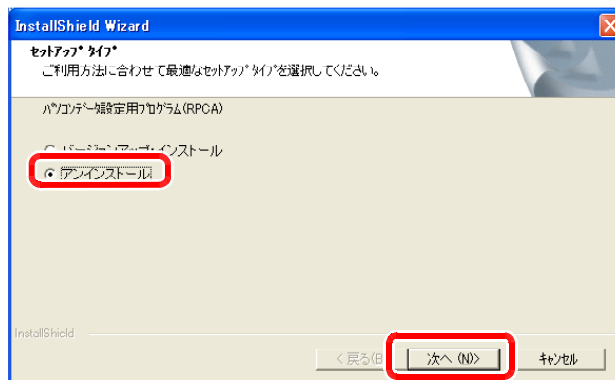


■Windows Vista® の場合

- ① [コンピュータ] ⇒ [プログラムのアンインストールと変更] を選択します。
- ② 削除したいプログラムを選択し、ダブルクリックします。



- ③ しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。
「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。
- ④ 以降、画面の指示に従ってください。



ご注意

- ★Windows Vista® をご使用で本アプリケーションのアンインストールを行なう際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから**続行**をクリックしてください。
- ★Windows Vista® をご使用の場合、アンインストール後にショートカットアイコンが残ってしまう場合があります。画面の更新又は、再起動を行なうと消去されます。

1-7 既設品の主装置のデータ設定や短縮データを変更するときの注意事項

データ設定済の主装置に対してデータ設定や短縮データを変更するときは、下記に注意してください。

ご注意

★データ設定済の主装置に対して、本アプリケーションで新規に作成またはファイルから読み込んだデータ設定や短縮データを主装置にダウンロードすると、パソコン側で設定したデータに置き換わります。データ設定済の主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。特に短縮データ(「主装置データ設定」はデータ設定および短縮データを一括でダウンロードします)に関しては、お客様が変更・追加を行っている可能性がありますので注意してください。

〈既設品の主装置のデータ設定・短縮データ変更手順〉

①主装置データアップロードを行う。

(パソコンリモートサービスの場合は「リモート主装置データアップロード」または「リモート短縮データアップロード」を行う。)

②本アプリケーションを終了しないで、データを変更する。必要に応じてファイルの保存を行ってください。

★ファイルの読み込みは行わないでください。

③主装置データダウンロードを行う。

(パソコンリモートサービスの場合は「リモート主装置データダウンロード」または「リモート短縮データダウンロード」を行う。)

※一部のデータをパソコンで変更する場合は、Web設定(「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の最後に記載の「Web設定について」参照)を利用することもできます。本アプリケーションは不要です。

1-8 ダイヤルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)

パソコンリモートサービスを行う場合は、ダイヤルアップ接続の設定が必要です。

ご注意

- 使用するパソコンの条件…アナログモデム装着または接続済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済、ブラウザ:「Internet Explorer 6.0」以上
- ISDN回線を使用するときもアナログモデムが必要です。(ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータも必要です。ターミナルアダプタ/ダイヤルアップルータのアナログポートにパソコンのモデムを接続します。)
- 主装置へRMUの実装や使用する外線(*034)/ダイヤルアップWeb設定用IPアドレス(*9406)等のデータ設定が必要です。⇒詳細は、主装置の「工事・保守マニュアル」を参照してください。

■Windows® 98SE、Windows® Me の場合 (画面はWindows® 98SEの例で記載しています)

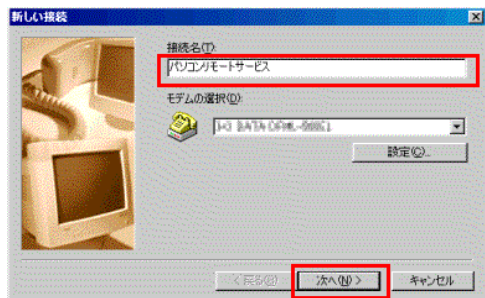
- ①[マイコンピュータ]→[ダイヤルアップ ネットワーク]の順にダブルクリックし、『ダイヤルアップ ネットワーク 画面』の[新しい接続]アイコンをダブルクリックする



※Windows® Me の場合は[スタート]→[設定(S)]→[ダイヤルアップ ネットワーク(N)]の順にクリックすると、『ダイヤルアップ ネットワーク 画面』が表示されます。

- ②『新しい接続 画面』が開くので、「接続名(T)」欄に接続先の名前を入力し、「モデムの選択(D)」欄から使用するモデムを選択し、「次へ(N)>」をクリックする

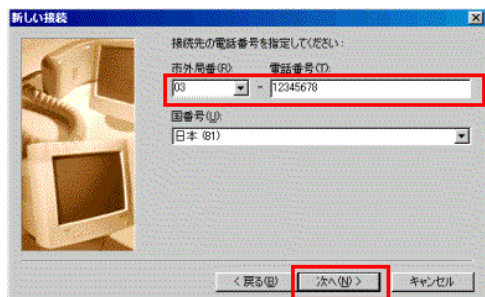
※「接続名」は適当にわかりやすい名前を付けてください。



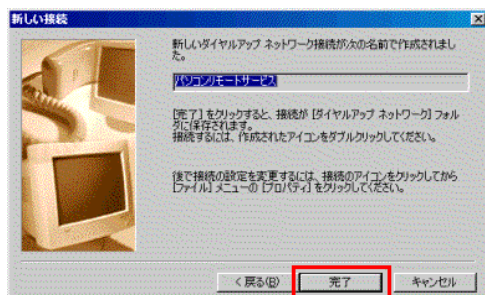
- ③「市外局番(R)」、「電話番号(T)」欄に電話番号を入力し、「次へ(N)>」をクリックする

※パソコンリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。

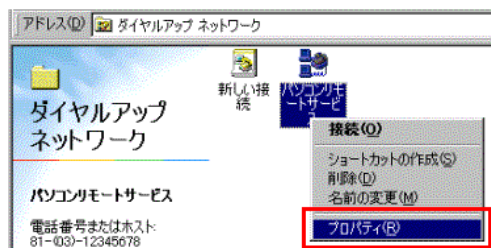
ダイヤルアップWeb設定とパソコンリモートサービスのダイヤルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号(コマンド*034で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号)を入力してください。



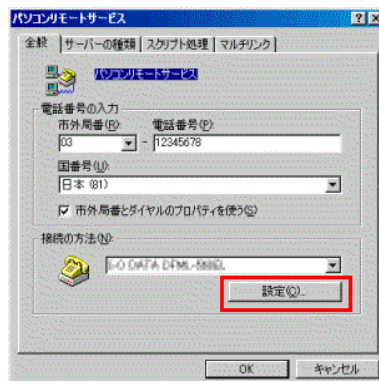
- ④ [完了] をクリックする



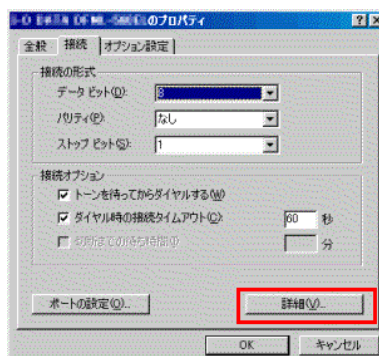
- ⑤『ダイヤルアップ ネットワーク 画面』に、操作②で入力した「接続名」のアイコンが表示されるので、本アイコンを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックする



- ⑥『**** 画面』(****は操作②で入力した接続名を表示)の[全般]タブを選択し、「設定(C)」をクリックする



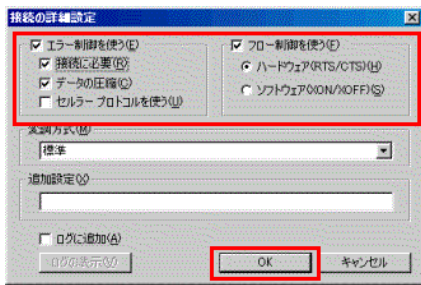
- ⑦使用するモデムの『プロパティ 画面』の[接続]タブを選択し、「詳細(V)」をクリックする



次頁へ続く

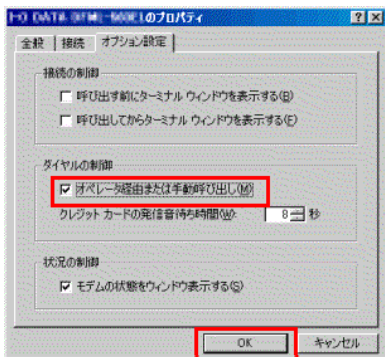
⑧『接続の詳細設定 画面』となるので、下記項目を設定し、**OK** をクリックする

- ・「エラー制御を使う(E)」をチェック
「接続に必要な(R)」、「データの圧縮(C)」をチェック
- ・「フロー制御を使う(F)」をチェック
「ハードウェア(RTS/CTS)(H)」を選択

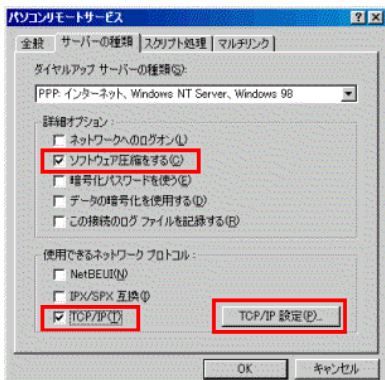


⑨使用するモデムの『プロパティ 画面』に戻るので、[オプション設定]タブを選択する

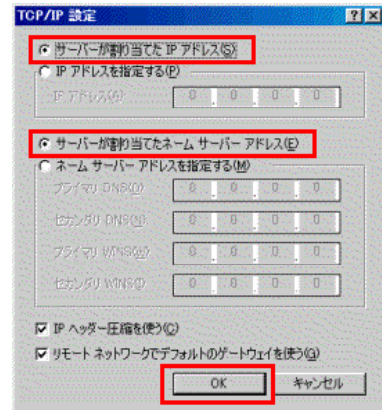
- ★お客様と通話後にリモートサービスを行うときのみ、「オペレータ経由または手動呼び出し(M)」をチェックし、**OK** をクリックする



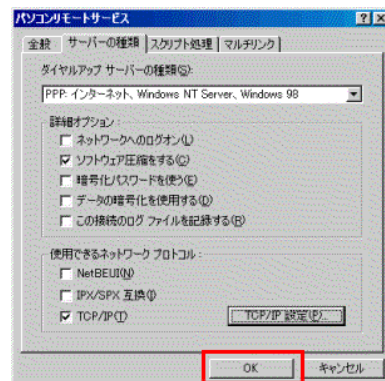
⑩『**** 画面』(****は操作②で入力した接続名を表示)の[サーバーの種類]タブ(Windows® Meは[ネットワーク]タブ)を選択し、「ダイヤルアップ サーバーの種類(S)」で「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」(Windows® Meは「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」)を選択し、「ソフトウェア圧縮をする(C)」をチェックし、「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP (T)」のみチェックし、**TCP/IP 設定(P)** をクリックする



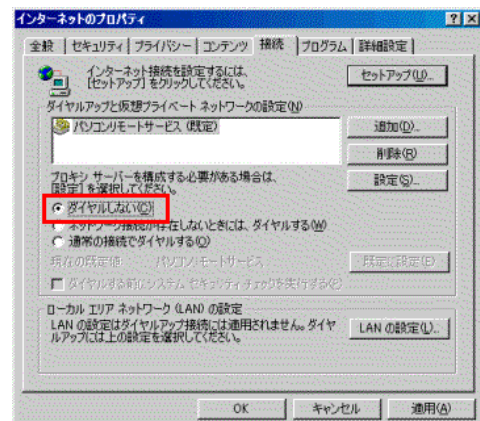
⑪『TCP/IP 設定 画面』で、「サーバーが割り当てたIPアドレス(S)」、「サーバーが割り当てたネーム サーバー アドレス(E)」を選択し、**OK** をクリックする



⑫『**** 画面』(****は操作②で入力した接続名を表示)に戻るので、**OK** をクリックする

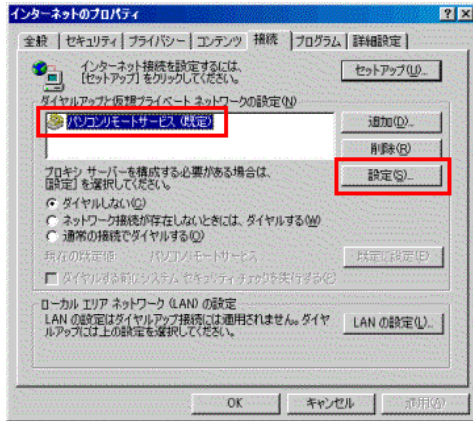


⑬[マイコンピュータ]→[コントロール パネル]→[インターネット オプション]の順にダブルクリックし、『インターネットのプロパティ 画面』の[接続]タブを選択し、「ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定(N)」は「ダイヤルしない(C)」を選択する。

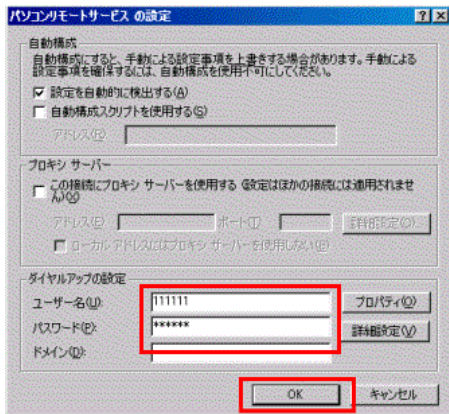


次頁へ続く

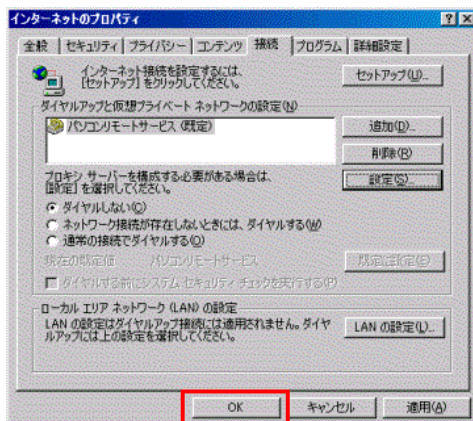
- ⑭『インターネットのプロパティ 画面』の[接続]タブを選択したままの状態、使用する接続(操作②で設定した接続名)を選択し、**設定(S)**をクリックする



- ⑮『*** の設定 画面』(***は操作②で入力した接続名を表示)となるので、「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」に「111111」を入力し、**OK**をクリックする



- ⑯『インターネットのプロパティ 画面』に戻るので、**OK**をクリックする



■Windows® XP の場合

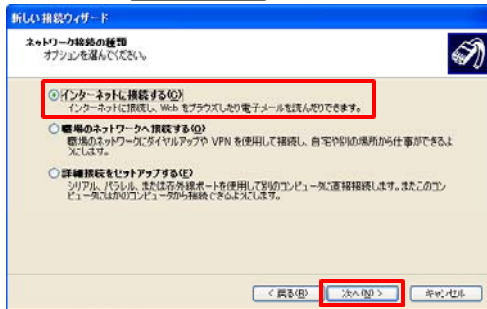
- ① [コントロール パネル(C)] から [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の [ネットワーク接続] をクリックする(カテゴリ表示の場合)
[コントロール パネル(C)] から [ネットワーク接続] をダブルクリックする(クラシック表示の場合)

- ② 『ネットワーク接続 画面』の [ネットワーク タスク] の [新しい接続を作成する] をクリックする

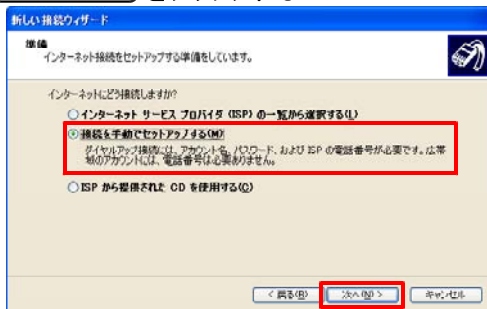


- ③ 『新しい接続ウィザード』が開くので [次へ(N)>] をクリックする

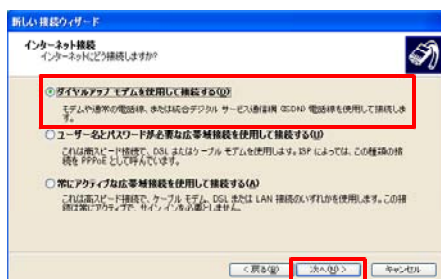
- ④ 『ネットワーク接続の種類 画面』の「インターネットに接続する (C)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする



- ⑤ 『準備 画面』の「接続を手動でセットアップする (M)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする

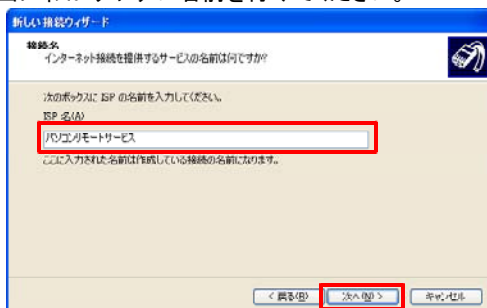


- ⑥ 『インターネット接続 画面』の「ダイヤルアップ モデムを使用して接続する (D)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする



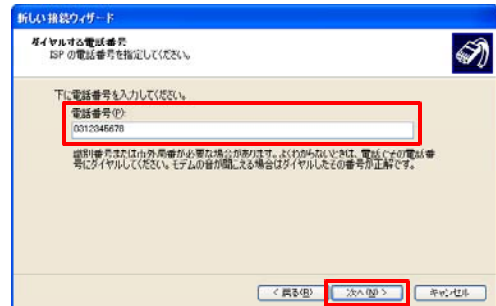
- ⑦ 『接続 画面』で接続先の名前を入力し、[次へ(N)>] をクリックする

※適当にわかりやすい名前を付けてください。



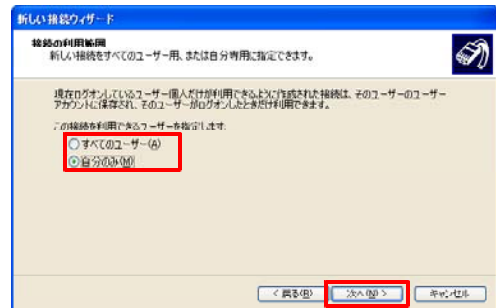
- ⑧ 『ダイヤルする電話番号 画面』で接続先の電話番号を入力し、[次へ(N)>] をクリックする

※パソコンリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。
ダイヤルアップWeb設定とパソコンリモートサービスのダイヤルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号(コマンド * 034 で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号)を入力してください。



- ⑨ 『接続の利用範囲 画面』で何れかの項目を選択し、[次へ(N)>] をクリックする

※「自分のみ (M)」を選択すると、本登録を行ったユーザーで Windows にログオン時のみ本接続を利用できます。

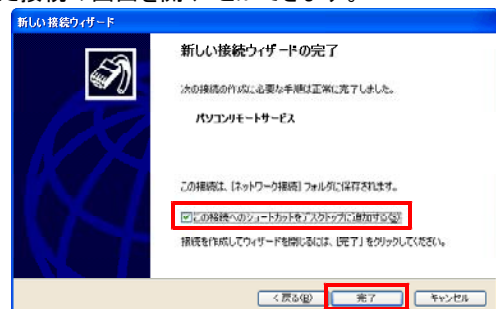


- ⑩ 『インターネット アカウント情報 画面』で「この接続を既定のインターネット接続とする (M)」、「この接続のインターネット接続ファイアウォールをオンにする (T)」のチェックを外したあと、「ユーザー名 (U)」、「パスワード (P)」、「パスワードの確認入力 (C)」に「111111」を入力し、[次へ(N)>] をクリックする



- ⑪ 『新しい接続ウィザードの完了 画面』となるので、完了するときは [完了] をクリックする

※「この接続のショートカットをデスクトップに追加する (S)」にチェックを入れると、デスクトップのショートカットをクリックして設定した接続の画面を開くことができます。

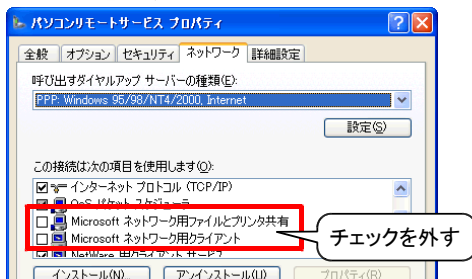


次頁へ続く

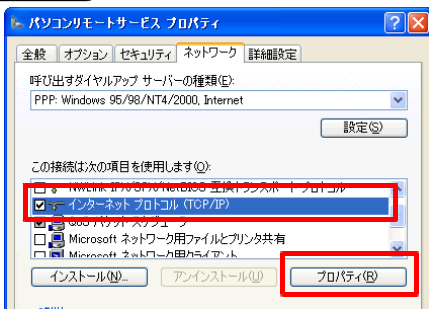
⑫『****へ接続 画面』(****は操作⑦で入力した接続名を表示)が開くので、**プロパティ(O)** をクリックする



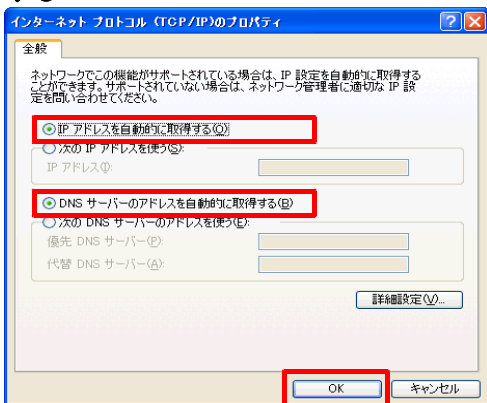
⑬『**** プロパティ 画面』(****は操作⑦で入力した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択し、「呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E)」で「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択し、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「Microsoft ネットワーク用クライアント」のチェックを外す



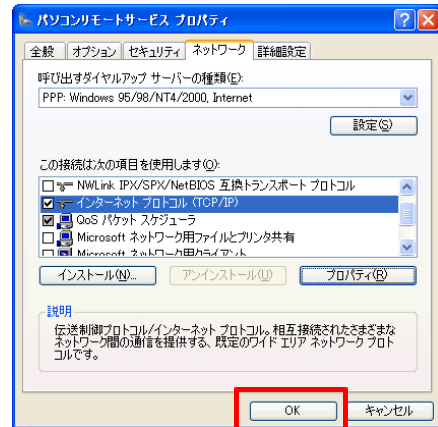
⑭『**** プロパティ 画面』(****は操作⑦で入力した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択したままの状態、**インターネット プロトコル(TCP/IP)**を選択し、**プロパティ(R)** をクリックする



⑮『インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ 画面』で、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選択し、**OK** をクリックする



⑯『**** プロパティ 画面』(****は操作⑦で入力した接続名を表示)に戻るので、**OK** をクリックする



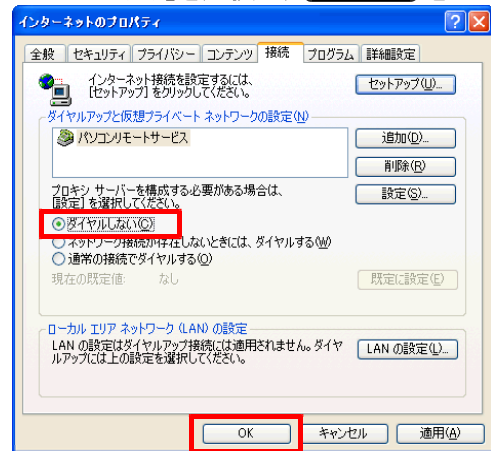
⑰『****へ接続 画面』に戻るので、**キャンセル** をクリックする



⑱[コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の[インターネット オプション]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル(C)]から[インターネット オプション]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)

⑲『インターネットのプロパティ 画面』の[接続]タブを選択し、「ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定(N)」は「ダイヤルしない(C)」を選択し、**OK** をクリックする

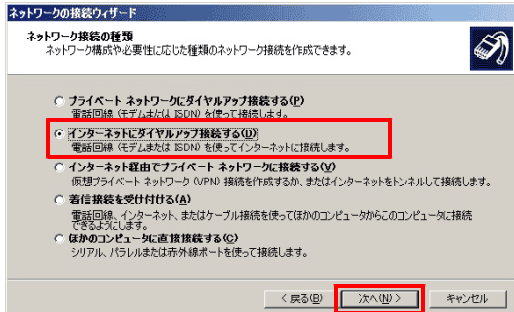


■Windows® 2000 の場合

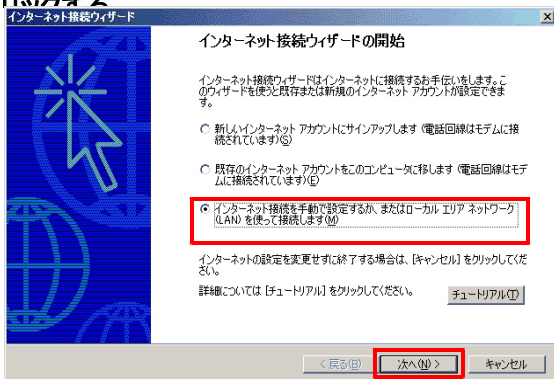
① [スタート] → [設定(S)] → [ネットワークとダイヤルアップ接続(N)] の順にクリックし、『ネットワークとダイヤルアップ接続画面』の [新しい接続の作成] アイコンをダブルクリックする

② 『ネットワークの接続ウィザードの開始 画面』が開くので [次へ(N)>] をクリックする

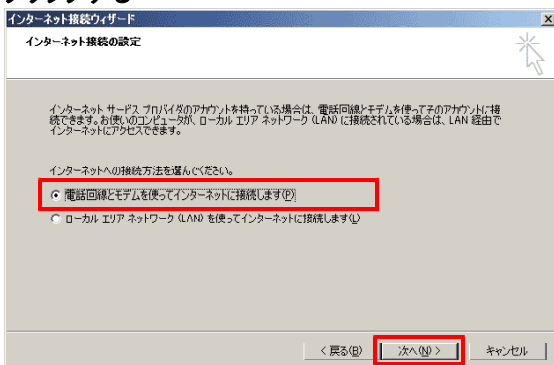
③ 『ネットワーク接続の種類 画面』の「インターネットにダイヤルアップ接続する(D)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする



④ 『インターネット接続ウィザードの開始 画面』の「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカル エリア ネットワーク (LAN) を使って接続します (M)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする



⑤ 『インターネット接続の設定 画面』の「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します (P)」を選択し、[次へ(N)>] をクリックする

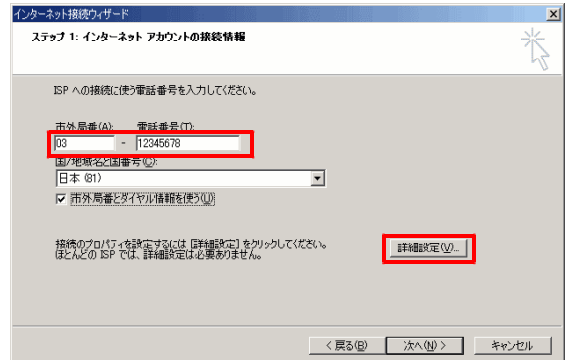


⑥ 初めてモデムの設定を行う場合は、『新しいモデムのインストール 画面』が表示されるので、画面の指示に従ってモデムをインストールする
複数のモデムがインストールされている場合は、『モデムの選択 画面』が表示されるので、使用するモデムを選択し、[次へ(N)>] をクリックする

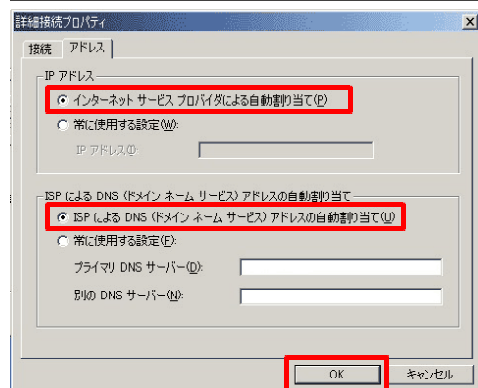
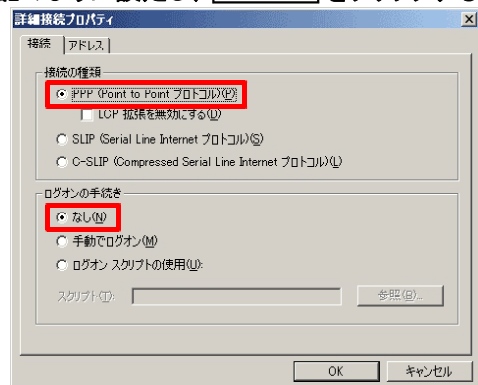
⑦ 『ステップ1: インターネット アカウントの接続情報 画面』で「市外局番(R)」、「電話番号(T)」欄に電話番号を入力し、[詳細設定(V)] をクリックする

※ パソコンリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。

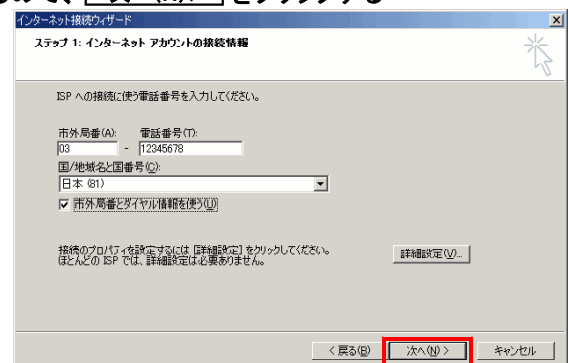
ダイヤルアップWeb設定とパソコンリモートサービスのダイヤルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号(コマンド * 034 で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号)を入力してください。



⑧ 『詳細設定プロパティ 画面』の [接続] タブ、[アドレス] タブで下記のように設定し、[OK] をクリックする

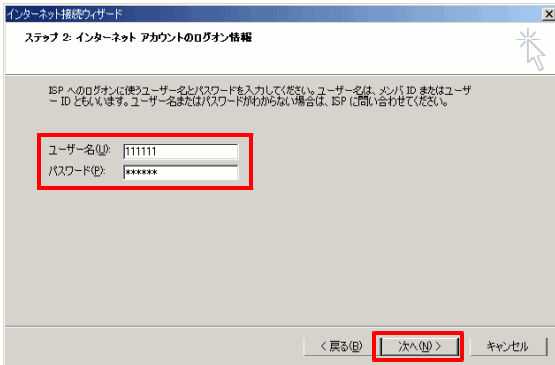


⑨ 『ステップ1: インターネット アカウントの接続情報 画面』に戻るので、[次へ(N)>] をクリックする

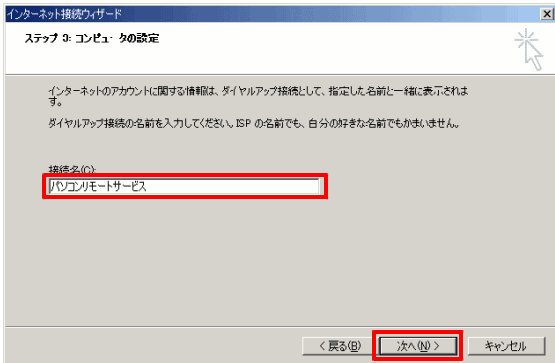


次頁へ続く

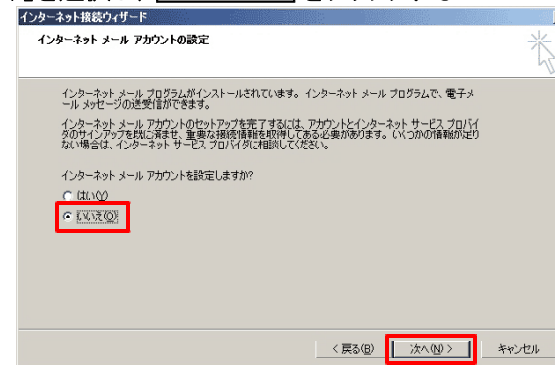
- ⑩『ステップ2: インターネット アカウントのログオン情報 画面』で「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」に「111111」を入力し、**次へ(N)>** をクリックする



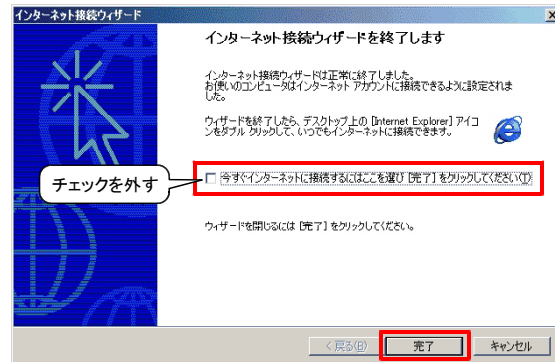
- ⑪『ステップ3: コンピュータの設定 画面』で「接続名(C)」に名前を入力し、**次へ(N)>** をクリックする
※適当にわかりやすい名前を付けてください。



- ⑫『インターネット メール アカウントの設定 画面』で「いいえ(O)」を選択し、**次へ(N)>** をクリックする

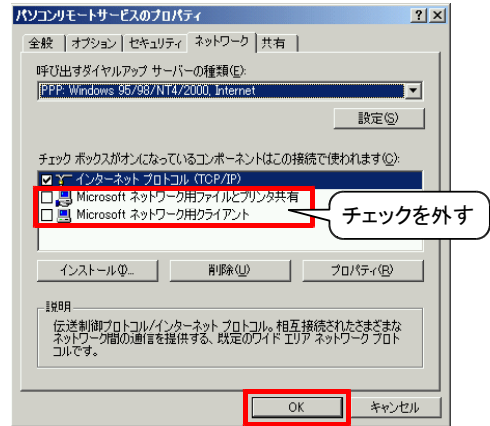


- ⑬『インターネット接続ウィザードを完了します 画面』となるので、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び[完了]をクリックしてください(T)」のチェックを外し、**完了** をクリックする



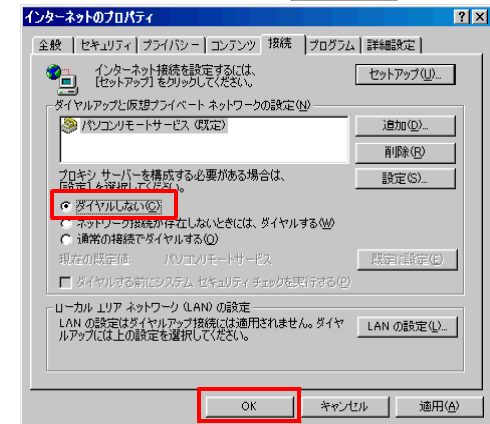
- ⑭『ネットワークとダイヤルアップ接続 画面』に、操作⑪で入力した「接続名」のアイコンが表示されるので、本アイコンを右クリックし、[プロパティ(R)]をクリックする

- ⑮『****のプロパティ 画面』(****は操作⑪で入力した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択し、「呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E)」で「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択し、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」、「Microsoft ネットワーク用クライアント」のチェックを外し、**OK** をクリックする



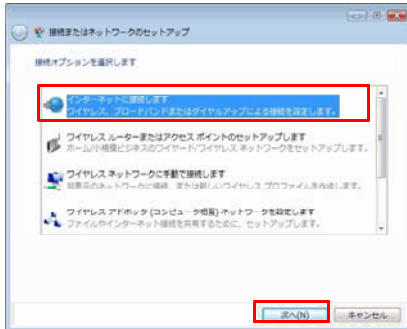
- ⑯[コントロールパネル(C)]から[インターネット オプション]をダブルクリックする

- ⑰『インターネットのプロパティ 画面』の[接続]タブを選択し、「ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定(N)」は「ダイヤルしない(C)」を選択し、**OK** をクリックする



■Windows Vista® の場合

- ① [コントロール パネル(C)] から [ネットワークの状態とタスク表示] をクリックする (カテゴリ表示の場合)
[コントロール パネル(C)] から [ネットワークと共有センター] をダブルクリックする (クラシック表示の場合)
- ② 『ネットワークと共有センター 画面』の [タスク] の [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする
- ③ 『接続または新しいネットワークのセットアップ』が開く
- ④ 『接続オプションを選択します 画面』の「インターネットに接続します」を選択し、**次へ(N)>** をクリックする



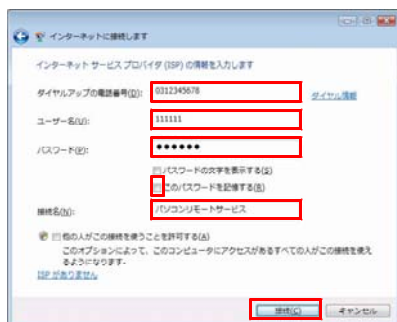
- ⑤ 『どのような方法で接続しますか? 画面』の「ダイヤルアップ (D)」をクリックする



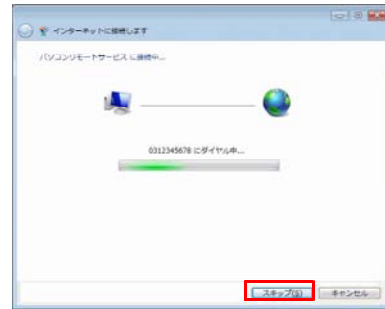
- ⑥ 『インターネットサービスプロバイダ (ISP) の情報を入力します 画面』で「ダイヤルアップの電話番号 (D)」、「ユーザー名 (U)」、「パスワード (P)」、「パスワード」、「接続名 (N)」を入力し、「このパスワードを記憶する (R)」にチェックを入れて **接続 (C)** をクリックする

※「ユーザー名 (U)」、「パスワード (P)」には、「11111」を入力してください。

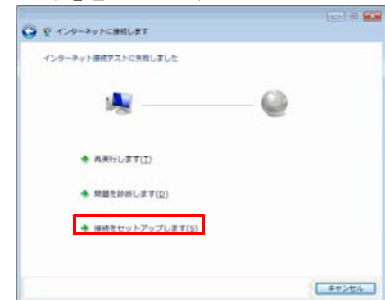
※パソコンリモートサービスの場合、ここで設定する電話番号には発信しませんので、任意の番号で構いません。ダイヤルアップ Web 設定とパソコンリモートサービスのダイヤルアップ接続を兼用する場合は、主装置を設置したお客様の電話番号 (コマンド * 034 で設定した外線/ダイヤルイン番号に該当する番号) を入力してください。



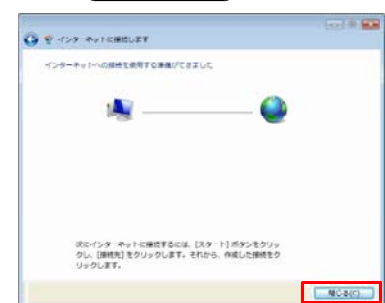
- ⑦ 『パソコンリモートサービスに接続中 画面』が表示されるので **スキップ (S)** をクリックする



- ⑧ 『インターネット接続試験に失敗しました 画面』で「接続をセットアップします」をクリックする



- ⑨ 『インターネットへの接続を使用する準備ができました 画面』が表示されるので **閉じる (C)** をクリックする

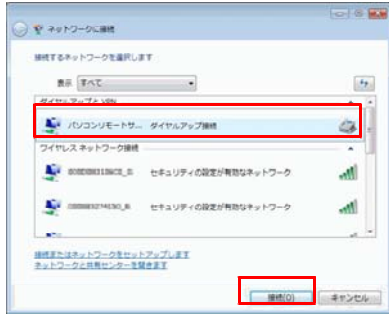


- ⑩ 『ネットワークと共有センター 画面』の [ネットワークに接続] をクリックする

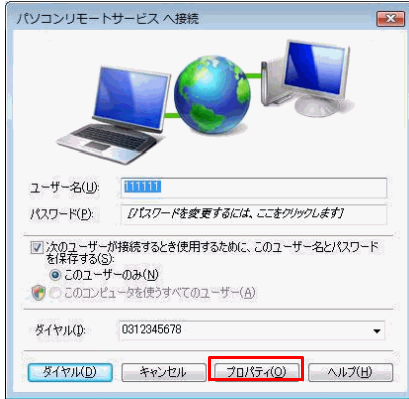


次頁へ続く

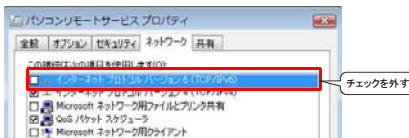
⑪『ネットワークに接続 画面』の「接続するネットワーク選択」
「**** ダイアルアップ接続」(****は操作⑥で
選択し、**接続(C)** をクリックする



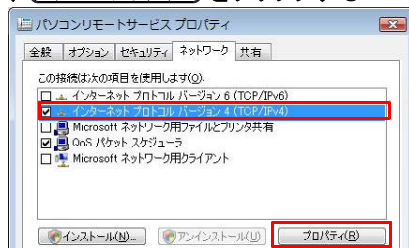
⑫『****へ接続 画面』(****は操作⑥で入力した
接続名を表示)が開くので、**プロパティ(O)** をクリック
する



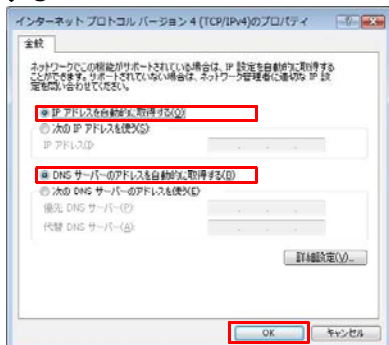
⑬『**** プロパティ 画面』(****は操作⑥で入力
した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択し、「インタ
ーネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)」のチェックを外す



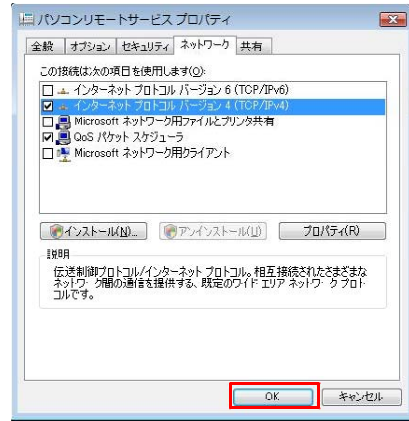
⑭『**** プロパティ 画面』(****は操作⑥で入力
した接続名を表示)の[ネットワーク]タブを選択したままの
状態で、「インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」
を選択し、**プロパティ(R)** をクリックする



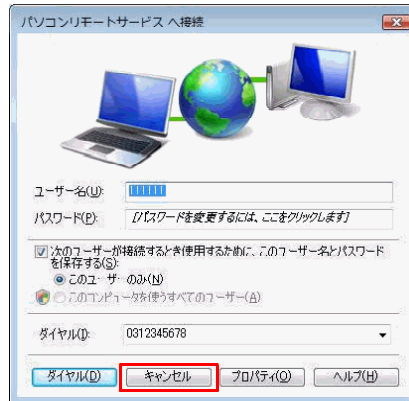
⑮『インターネット プロトコル (TCP/IPv4)のプロパティ 画面』
で、「IP アドレスを自動的に取得する(O)」、「DNS サーバ
のアドレスを自動的に取得する(B)」を選択し、**OK**
をクリックする



⑯『**** プロパティ 画面』(****は操作⑥で入力
した接続名を表示)に戻るの、**OK** をクリックす
る



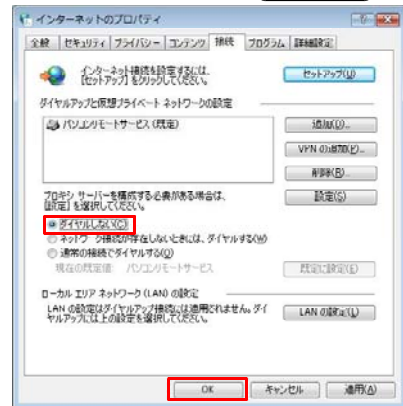
⑰『****へ接続 画面』に戻るの、**キャンセル** をク
リックする



⑱[コントロール パネル(C)]から[ネットワークの状態とタスクの
表示]をクリックし、『ネットワークと共有センター 画面』の[イン
ターネット オプション]をクリックする(カテゴリ表示の場合)

[コントロール パネル(C)]から[インターネット オプション]を
ダブルクリックする(クラシック表示の場合)

⑲『インターネットのプロパティ 画面』の[接続]タブを選択し、
「ダイアルアップと仮想プライベート ネットワークの設定(N)」は
「ダイアルしない(C)」を選択し、**OK** をクリックする



1-9 Q&A集

No.	質 問	回 答
1	PCアプリでアップロードまたは、ダウンロードを行うと、「コネクト失敗」のメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● *9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか。(「ポートオープン」に変更してください。) ● パソコンと主装置間のLANケーブルがストレートケーブルになっていませんか。(クロスケーブルに変更してください) ● パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか。(同一セグメントにしてください) ● パソコンセキュリティソフト(例: ウイルスバスター等)が常駐していませんか。(ソフトを停止して実行してください) ● パソコンの「ファイアウォール」(Windows® XP、Windows Vista® のみ)が有効になっていませんか。(無効にしてください)
2	PCアプリで「主装置データアップロード」を選択すると「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出てアップロードできない。 また、「データ設定」→「詳細設定」を選択すると、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。 ● データ設定画面においてメモリ不足エラーが表示された場合は、LANドライバがメモリ解放する時間までしばらく時間を待ってください。それでもメモリ不足エラーが表示される場合、一度すべてのデータをファイル保存してPCの再起動を行い、再度アプリにて保存ファイルを読み、データ設定画面を表示してください。
3	PCアプリを使用して、主装置にデータ(短縮)登録ができない。 ダウンロード中画面が表示された後、0%の状態ですと「コネクト失敗」メッセージが出る。これを何回か繰り返すと、登録OKになる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンのLANドライバが古くありませんか。(最新のドライバに更新して、再度実施してください)
4	パソコンのOSが Windows® 98SE 日本語版で主装置からデータアップロードを行うと「受信ファイルの読み込みに失敗しました」とエラー表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® 98SE 日本語版で使用するOSモジュールに古いLAN通信DLLが存在している可能性があります。(最新のLAN通信DLLを入手して、再度実施してください)
5	詳細設定等で、画面の“登録”ボタンを押した後に、入力データが画面に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Internet Explorerの“インターネット一時ファイル”→“設定”→“保存しているページの新しいバージョンの確認”の設定が“ページを表示するごとに確認する”になっていますか。(設定を変更してください)
6	主装置にデータをダウンロードしたところ、外線ボタンのランプが点灯しなくなった。 発信、着信は可能。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「データ設定ファイル」と「ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル」の内容がアンマッチの場合に本現象となる場合があります。パソコン側のクッキー等の設定が正しくないとアンマッチのファイルができる可能性があります。 Internet Explorerの“インターネット一時ファイル”→“設定”→“保存しているページの新しいバージョンの確認”の設定が“Webサイトを表示するたびに確認する”になっていますか。(設定を変更してください)

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。

[1] 事前に設定ファイルを作成する場合

- ①プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ②「ファイル作成」を選択 ⇒P2-2参照
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
- ④PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定

[2] 新規工事の場合(事前作成ファイルなし)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
- ⑤PCでの設定、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定
- ⑥「主装置データダウンロード」を実行 ⇒P2-17参照

[3] 新規工事の場合(事前作成ファイルあり)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
- ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
- ④ファイル読込 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定
- ⑤「主装置データダウンロード」を実行 ⇒P2-17参照

※事前作成の内容で変更が必要な場合は、④の後で「ユーザー情報設定」の変更、PCでの設定変更、ファイル保存を行ってください。

[4] 設定変更の場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2参照
 - ②プログラム起動 ⇒P2-2参照
 - ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2参照
 - ④「主装置データアップロード」を実行 ⇒P2-2参照
- ★必ず実行してください。**
- ⑤「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5参照
 - ⑥PCでの変更、ファイル保存 ⇒P2-6参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定
 - ⑦「主装置データダウンロード」を実行 ⇒P2-17参照

2. プログラムの起動～主装置データアップロード

●事前確認（工事・保守マニュアルを参照してください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

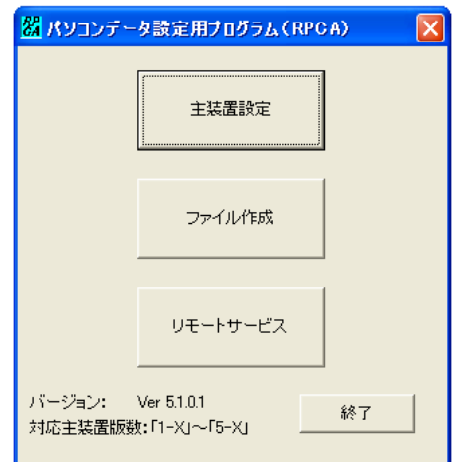
1 本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

●各ボタンの説明

主装置設定 …主装置に接続して、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データのアップロードや変更、ダウンロードを行う。

ファイル作成 …主装置に接続せず、事前にデータ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。

リモートサービス …公衆回線経由で、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データのリモートサービスを行う。（詳細は、第3部を参照）



※以降の説明は、**主装置設定** を選択して主装置データのアップロードを行う場合を示します。**ファイル作成** を選択した場合は操作2は省略され、『工事者用メニュー画面』となります。また、操作4～操作10は不要です。ただし、『工事者用メニュー画面』で **主装置データアップロード**、**主装置データダウンロード** は選択できません。

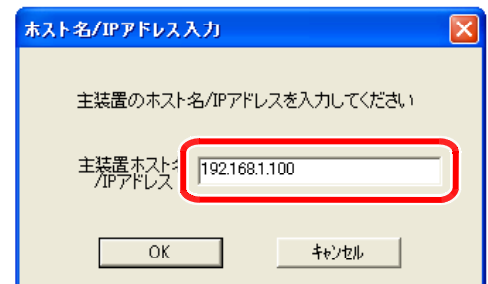
2 『メイン画面』で **主装置設定** をクリックすると、『ホスト名入力画面』となる。

接続されている主装置のIPアドレスを入力して **OK** をクリックする。

IPアドレスの入力は、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

※初期値は192. 168. 1. 100です。

※使用ポートは変更しないでください。



※*000のパスワードが変更されている場合(0000以外を設定している場合)には、以降の操作を必ず行ってください。パスワードを変更していない場合は、操作3～8は省略可能です。

3 『工事者用メニュー画面』が表示される。

データ設定 をクリックする。

●各ボタンの説明

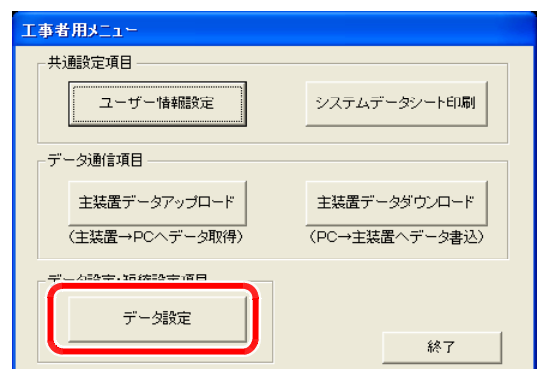
ユーザー情報設定 …ユーザーの会社名や電話番号等の情報を登録します。（ファイルに登録情報を付加します。）

システムデータシート印刷 …パソコン上にあるデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データをプリントアウトします。

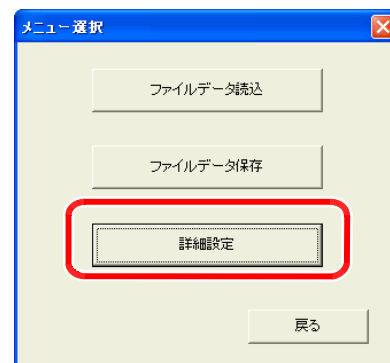
主装置データアップロード …主装置側のデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データをパソコン側にアップロードします。

主装置データダウンロード …パソコン側のデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データを主装置側にダウンロードします。

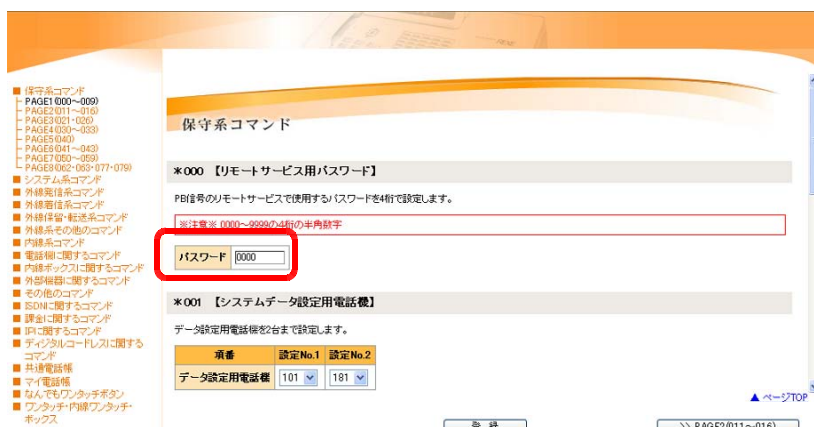
データ設定 …パソコン上でデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データの変更、ファイル保存、ファイル読み込みを行います。



4 『メニュー選択画面』で **詳細設定** をクリックする。



5 「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示される。
『保守系コマンド画面』で *000 のパスワードを入力する。

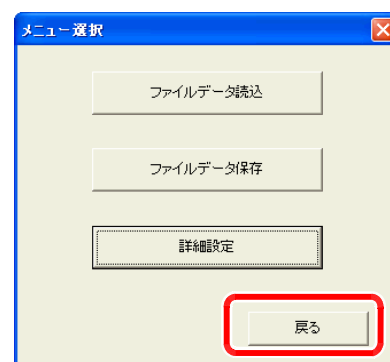


6 画面一番下の、**登録** をクリックする。



7 設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する
※「Internet Explorer」を閉じても設定内容は、消えません。

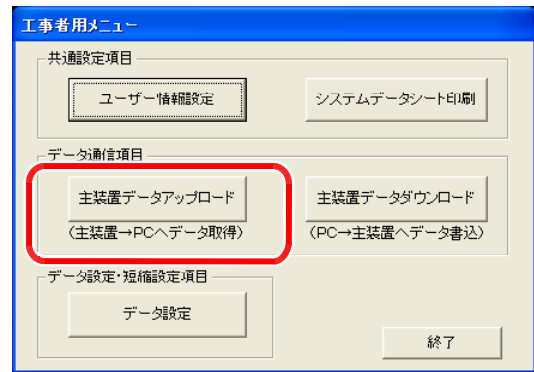
8 『メニュー選択画面』で **戻る** をクリックする。



9

『工事者用メニュー画面』が表示される。
主装置データアップロード をクリックする。

★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「主装置データアップロード」を先に行ってください。



10

『主装置データアップロード確認画面』となるので、アップロードを開始してよい場合は **OK** をクリックする。

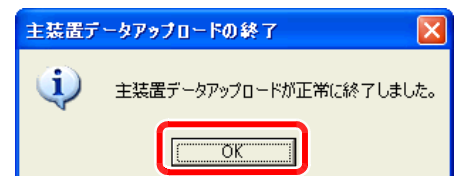
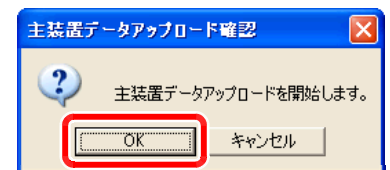
★中断できないので注意してください。

※ **キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。

※アップロードを開始すると『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータにアップロードの進行状況が表示されます。

アップロードが完了すると『主装置データアップロードの終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



ご注意

★アップロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★アップロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、アップロードをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P2-2参照)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

◆データ設定画面の表示において、メモリ不足エラーが表示された場合は、LANドライバがメモリ解放する時間まで、しばらく時間を待ってください。

それでもメモリ不足エラーが表示される場合、一度すべてのデータをファイル保存し、PCの再起動を行い、再度アプリにて保存ファイルを読み、データ設定画面を表示してください。

3. ユーザー情報設定

本設定を行っておくと、データ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、共通電話帳、マイ電話帳のファイルに、お客様の会社名や電話番号等の情報も保存することができます。

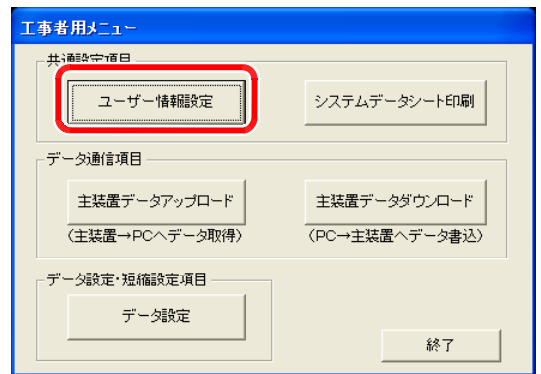
◆以前に保存したファイルを読み込むと、『ユーザー情報設定画面』で設定した情報が表示されます。

◆パソコンリモートサービス(第3部参照)も行う主装置の場合は、「ユーザー電話番号」欄に、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線(ダイヤルアップWeb設定と兼用)に対応する電話番号またはダイヤルイン番号(コマンド*034で設定)を必ず設定してください。(「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に自動的に発信します。)

★ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド*034に対応した電話番号以外を入力することも可能です。(*034、*035の設定も不要)

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で **ユーザー情報設定** をクリックする。



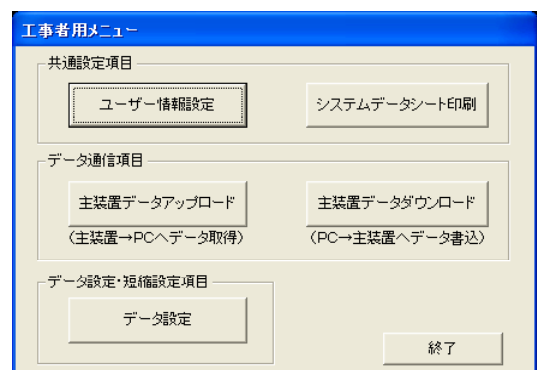
2 必要事項を入力し、**登録** をクリックする。

各欄は下記の範囲内で入力してください。
お客様の名前や電話番号等の情報を入力しておきます。
(データ設定内容には影響しません。)

- ユーザー名：全角12文字(半角24文字)まで
お客様の会社名等を入力してください。
- 担当者名：全角12文字(半角24文字)まで
ユーザーが会社等で担当の方がいる場合は、担当の方の名前等を入力してください。
- ユーザー電話番号：半角数字
パソコンリモートサービスも行う場合は、PCリモート用の電話番号を入力してください。
★ISDN外線同士のPCリモートを行う場合は、下記登録でも可能：
電話番号(コマンド*034以外も可)+*(注)+PCリモート用サブアドレス5桁(0+コマンド*000のパスワード)
- 設置年月日：全角12文字(半角24文字)まで
- 設置メモ：全角36文字(半角72文字)まで
改行も全角1文字とみなします。

(注) * はサブアドレスの区切りです。接続するTAの仕様に従ってください。

3 『工事者用メニュー画面』に戻る。

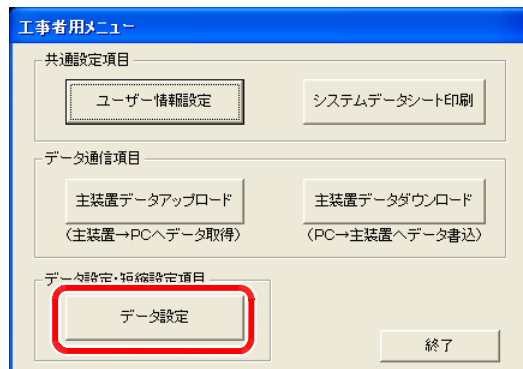


4. データ設定

データ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、共通電話帳、マイ電話帳のファイル設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で **データ設定** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

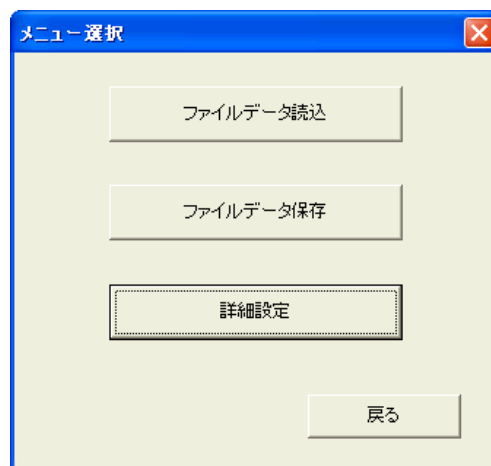
●各ボタンの説明

ファイルデータ読込 … 事前設定またはバックアップしたデータ設定や電話帳データ等の設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 … パソコン上にあるデータ設定や電話帳データ等をファイル保存します。⇒P2-9参照

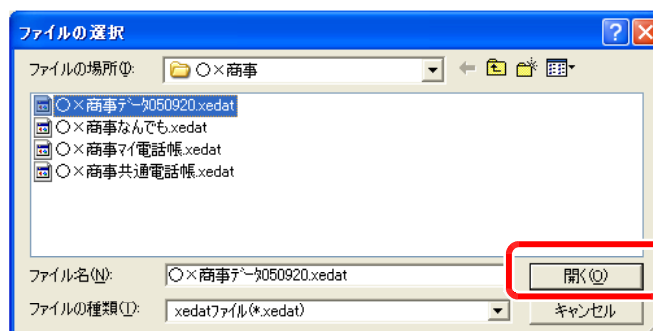
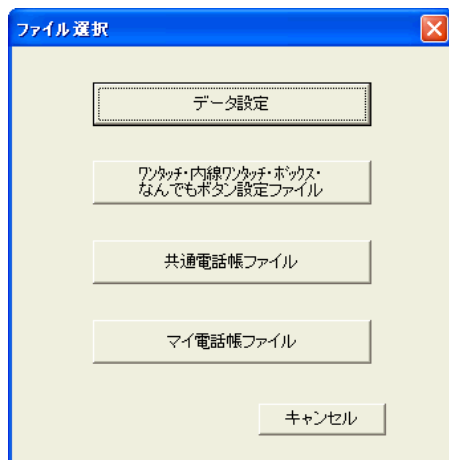
詳細設定 … パソコン上でデータ設定や電話帳等を変更します。

戻る … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



★既に作成済のファイルを修正するときは、「詳細設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

- ① 『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックします。
- ② 『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択します。
- ③ 読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。

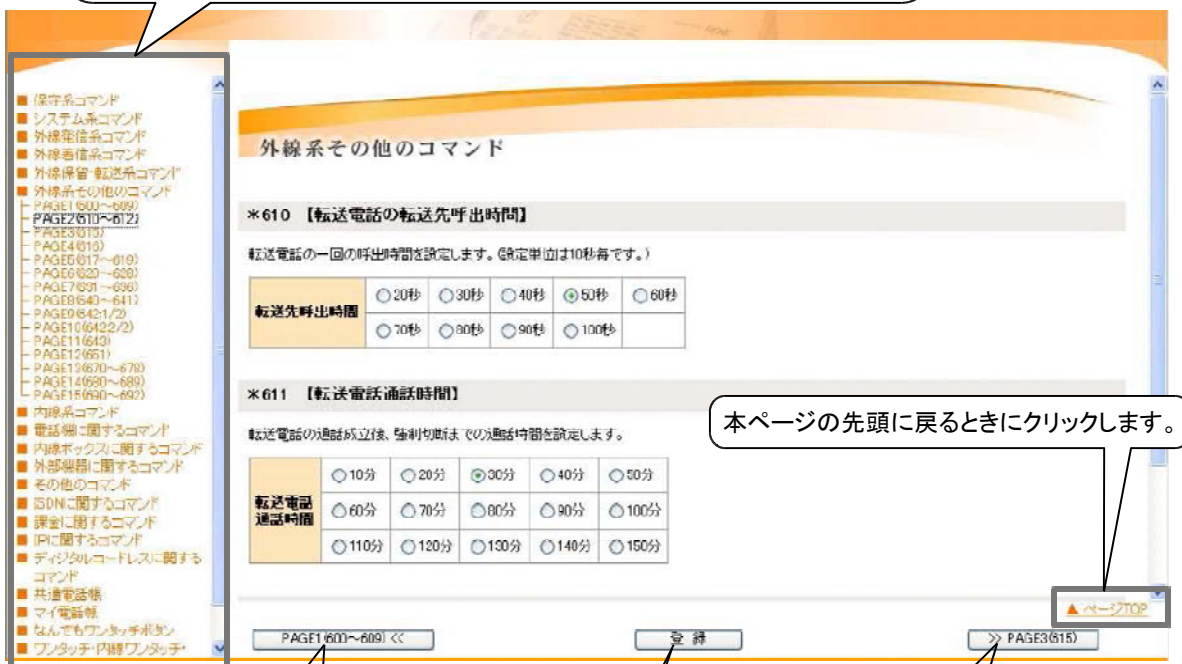


3 操作2の『メニュー選択画面』で **【詳細設定】** をクリックすると、「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示される。

- 各ページを開くと、現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 下記に設定用のWeb画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。
- 下記の画面は概略の説明用です。表示内容は実際と多少異なる場合があります。

各コマンド区分毎に、コマンド番号順に分類されています。

- コマンド区分をクリックすると、ページ一覧およびコマンド番号が表示されます。該当するページをクリックし、各設定を行います。
- 現在表示しているページは色を変えて表示します。



本ページの先頭に戻るときにクリックします。

現在表示しているコマンド区分の前ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているコマンド区分の次ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

※「**■ 保守Web設定**」は選択しても機能しません。

ご注意

- ★「データ設定アプリ用ポート設定」(*9403)を「ポートクローズ」(0)に変更してデータをダウンロードすると、以降は主装置データのアップロードやダウンロードができなくなりますので、注意してください。
- ★同じ値を複数箇所に重複設定できないデータ設定コマンド(例: *030、*081、*082、*084、等)にて、重複設定した場合、電話機からの登録と異なり、最後に入力したデータが必ずしも有効にはなりません。また、設定範囲外のデータを入力可能な場合があります。**【登録】** をクリックすると更新結果が表示されますので、間違いがないか確認してください。

必要な項目を設定する

- 「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の各コマンド説明を見ながら設定を行ってください。
- 下記に示す4種類の入力方法(表示のみを含む)があります。

種類	表示例	操作方法
ラジオボタン	機能 <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	設定する項目をクリックします。
リストボックス	データ設定用電話機 101 ▼	プルダウン表示される候補を選択します。
エディットボックス	パスワード 0000	直接入力します。設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、電話機からのデータ設定と異なりエラー表示しません。必ずデータ設定マニュアルを参照して有効な値を入力してください。
表示のみ	対象電話機 101 接続状態	モニタのみ可能で入力できません。

- 主装置のシステムデータ設定以外に下記の設定を行うことができます。

①共通電話帳(システム短縮)、マイ電話帳(電話機毎短縮)：

電話機からの登録と同様に、電話番号・名前・ヨミガナを入力します。

一部の記号を電話番号欄に入力できます。詳細は取扱説明書の「電話帳を登録する」を参照してください。共通電話帳(システム短縮)は、リストボックスで短縮グループも選択します。

★電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク(■)が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

②なんでもワンタッチボタン：

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機からのみ登録可能なボタンが既に登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン(右下の表に示す項目を含む)のみ登録が可能です。

1	現在の登録	登録なし	現在の登録内容を表示します。	ボタン以外の項目	備考
	新しい登録	登録なし ▼	登録するボタンをプルダウンで表示されるものから選択します。		
2	現在の登録	登録なし		登録なし	操作を登録しません。「登録なし」を登録した箇所以降の操作は無視されます。
	新しい登録	登録なし ▼		変更不可	現在の登録のままとします。
	現在の登録	登録なし			

③ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタン：

現在の登録内容が別枠で表示されます(プログラマブルキーとして登録してあるボタンを含む)。

リストボックスに表示される機能(下表参照)を選択し、設定値を入力します。

	現在の登録	機能選択	設定値
KEY01:	外線01	変更なし ▼	01
KEY02:	外線02	変更なし ▼	02
KEY13:	機能なし	変更なし ▼	101

現在の登録内容を表示します。

登録するボタンの種類をプルダウンで表示されるものから選択します。

各ボタンに登録する設定値(3桁)を入力します。

※「内線ワンタッチボタン」は、内線番号のみサポートしています。

「内線一斉呼出」や「外部スピーカ呼出」等の特番を「内線ワンタッチボタン」に登録する場合は、電話機から行ってください。

機能選択	設定値	備考
変更なし	—	現在の登録内容のままと選択します。
クリア	—	現在の登録を消去します。プログラマブルキーが登録されているときも消去されますので、注意してください。
ワンタッチ	短縮番号(3桁)	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。
内線ワンタッチ	電話機収容位置(3桁)	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。
ボックス	電話機収容位置(3桁)	内線ボックスボタンを登録します。電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。

5

表示しているページ内の設定が完了したら画面一番下の **登録** をクリックする

転送電話の一回の呼出時間を設定します。(設定単位は10秒毎です。)

転送先発信時間	<input type="radio"/> 20秒	<input type="radio"/> 30秒	<input type="radio"/> 40秒	<input checked="" type="radio"/> 50秒	<input type="radio"/> 60秒
	<input type="radio"/> 70秒	<input type="radio"/> 80秒	<input type="radio"/> 90秒	<input type="radio"/> 100秒	

*611 【転送電話通話時間】

転送電話の通話成立後、強制切断までの通話時間を設定します。

転送電話通話時間	<input type="radio"/> 10分	<input type="radio"/> 20分	<input checked="" type="radio"/> 30分	<input type="radio"/> 40分	<input type="radio"/> 50分
	<input type="radio"/> 60分	<input type="radio"/> 70分	<input type="radio"/> 80分	<input type="radio"/> 90分	<input type="radio"/> 100分
	<input type="radio"/> 110分	<input type="radio"/> 120分	<input type="radio"/> 130分	<input type="radio"/> 140分	<input type="radio"/> 150分

登録

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

6

全ての設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する

※「Internet Explorer」を閉じても設定内容は、消えません。

7

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

メニュー選択

ファイルデータ読込

ファイルデータ保存

詳細設定

戻る

8

『ファイル選択画面』となるので、保存したいファイルの種類を選択し、クリックする。

●各ボタンの説明

データ設定 … Web画面で設定したデータ設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約 6.3MB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約21.0MB

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル … Web画面で設定したワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタンの設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約800KB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約2.2MB

共通電話帳ファイル … Web画面で設定した共通電話帳の設定内容をファイル保存します。

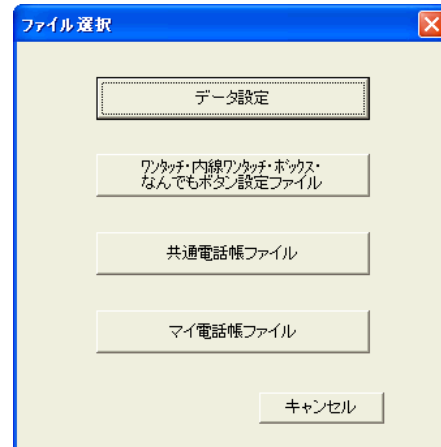
★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約80KB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約80KB
(システム短縮ダイヤルのメモリ数=990件のとき)

マイ電話帳ファイル … Web画面で設定したマイ電話帳の設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約50KB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約50KB
(システム短縮ダイヤルのメモリ数=600件のとき)



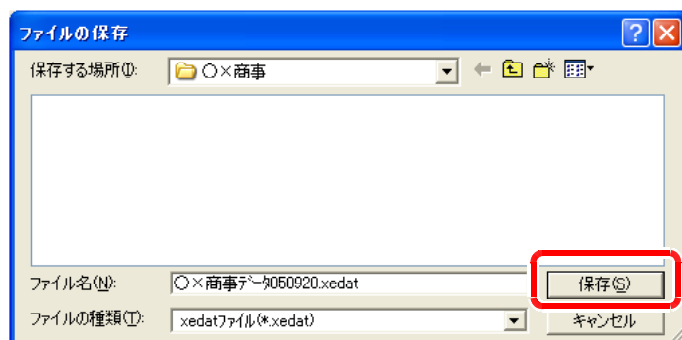
9

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

※お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

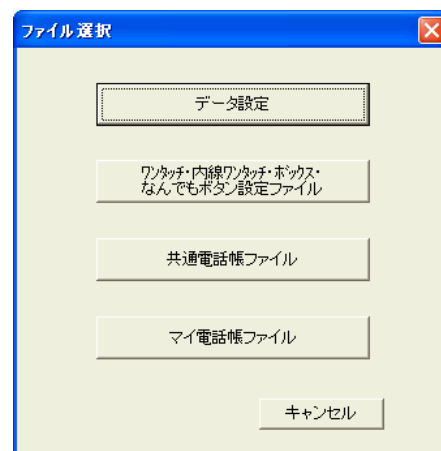
※共通電話帳、マイ電話帳、ワンタッチダイヤルボタン等のファイルも同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+データ設定、データ、等)



10

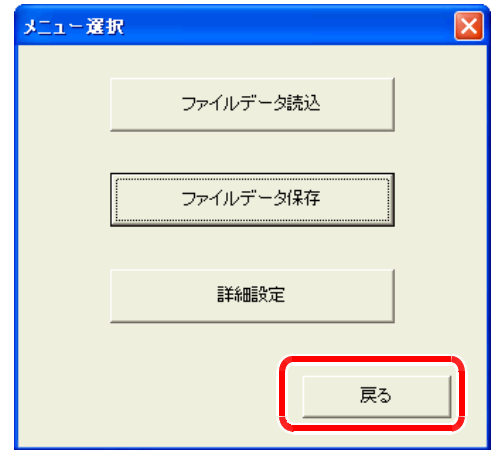
『ファイル選択画面』に戻る。

保存したいファイルが他にあれば操作8～操作9を繰り返し、保存するファイルがなければ、**キャンセル** をクリックする。



11

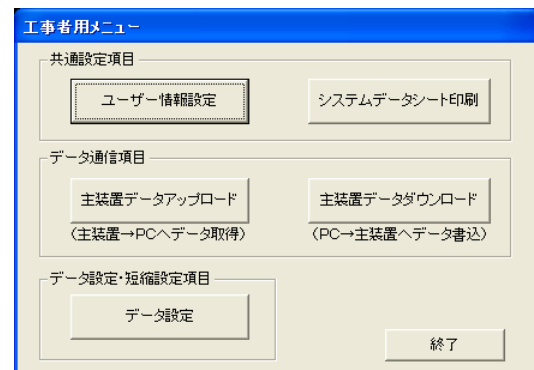
『メニュー選択画面』となるので、**戻る** をクリックする。



12

『工事者用メニュー画面』に戻る。

- 設定したデータを主装置にダウンロードする場合は…
P2-17を参照してください。
- 設定したデータを印刷する場合は…
P2-13を参照してください。



●CSVファイルを利用するには

(1)ファイルの作成方法

EXCEL等で作成した電話番号一覧を利用することができます。(共通電話帳のみ可能)

※EXCEL等の使用方法は各アプリケーションの説明書等を参照してください。

下記手順で電話番号一覧を作成／編集してください。

- ①下記に示すフォーマットで電話番号一覧を作成／編集する。
(全てのセルの書式を「文字列」に設定してから作成／編集してください。)

必ず000から入力 →

	A	B	C	D	E	F
1	短縮番号	電話番号	カナ名称	漢字名称	グループ番号	
2	000	0312345678	トキョウホンシャ	東京本社	1	
3	001	0612345678	オオサカシヤ	大坂支社	1	
4	002	0521234567	ナゴヤシテン	名古屋支店	1	
5	003	09011111111	スズキケイ	鈴木携帯	2	
6	004	09022222222	サイウケイ	斎藤携帯	2	
7	005	09033333333	サウケイ	佐藤携帯	2	
8	006	0451234567	アキショウジ	青木商事	3	
9	007	0451235678	ササキコウギョウ	佐々木工業	3	
10	008	09044444444	ナカシマケイ	中島携帯	2	
11	009	04512346789	カウショウテン	加藤商店	3	

●1行目: 短縮番号、電話番号、カナ名称、漢字名称、グループ番号の文字(全て全角)を上記の順番通りに入力します。

●短縮番号: 000からの連番を半角数字で入力します。

データを入力した行は、必ず入力してください。全ての短縮番号を入力する必要はありません。(先頭の000は必須)

●電話番号: 電話番号を入力します。半角数字24文字まで。

●カナ名称: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースを入れずに入力します。半角20文字まで。

●漢字名称: 相手名称をスペースを入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

●グループ番号: 短縮のグループ番号1～7を半角数字で入力します。

★カナ名称・漢字名称に半角の「”」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データ等)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。既に作成済の電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目にて指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得することはできませんので注意してください。

- ②作成／編集が済んだら、CSV形式で保存する。

※CSV形式の他、EXCEL等の通常の型式でもファイル保存することをお勧めします。

CSV形式のファイルを読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、後日編集作業を行う場合は通常の型式で保存したファイルを利用した方が便利です。

(2)本プログラムで保存したCSVファイルの読込方法

EXCELでCSVファイルを直接読み込むと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、下記操作を行ってください。(一旦、txtファイルに変更します。)

- ①エクスプローラ等で、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

- ②EXCELで拡張子を「txt」に変更したファイルを開く。

- ③画面の指示に従って、操作する。

●元のデータの形式: 「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。

●区切り文字: 「カンマ」を選択します。

●列のデータ形式: 全てのデータ項目を「文字列」にします。

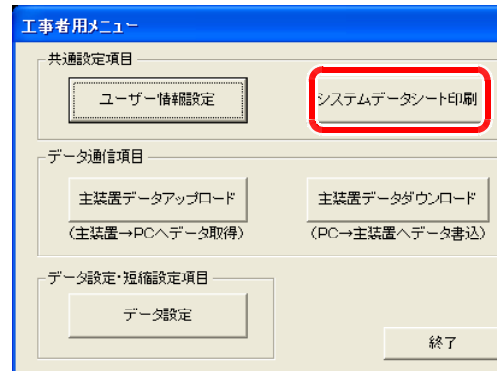
- ④ **完了(F)** をクリックし、ファイルが開いたら上記(1)に従って編集作業を行う。

5. システムデータシート印刷

パソコンに接続したプリンタでデータ設定や短縮の設定内容を印刷できます。

下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

1 『工事者用メニュー画面』で **システムデータシート印刷** をクリックする。



2 『システムデータシート印刷選択画面』となるので、印刷したい内容のボタンをクリックする。

●各ボタンの説明

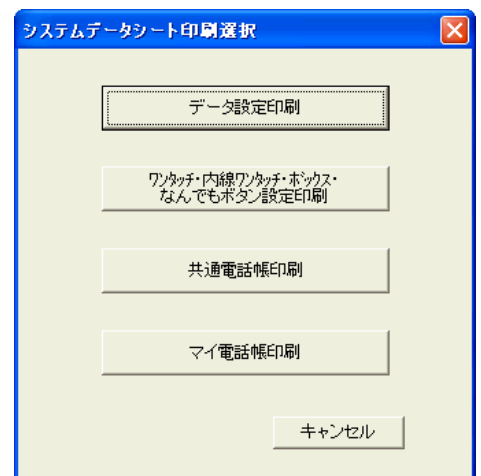
データ設定印刷 … パソコン上にあるデータ設定内容を印刷します。

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定印刷 … パソコン上にあるワンタッチダイヤルボタン等の登録内容を印刷します。
(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタンの登録内容の後に、なんでもワンタッチボタンの登録内容を印刷します。)

共通電話帳印刷 … パソコン上にある共通電話帳データを印刷します。

マイ電話帳印刷 … パソコン上にあるマイ電話帳データを印刷します。

キャンセル … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



3 『印刷種別選択画面』となります。

●各ボタンの説明

プレビュー表示 … 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。

(詳細はP2-14参照)

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

ダイアログ表示 … プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(詳細はP2-15参照)

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

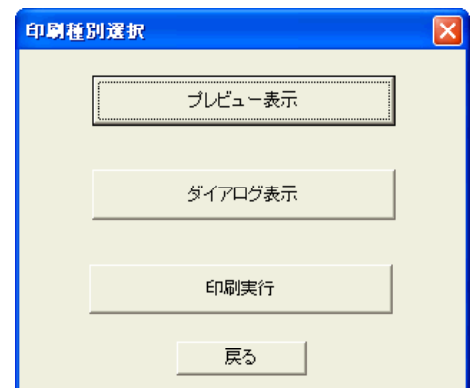
印刷実行 … 印刷を実行します。

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

戻る … 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



※以降のページでは、**プレビュー表示** を選択した場合と **ダイアログ表示** を選択した場合とに分けて説明します。(**印刷実行** を選択した場合は、説明を省略します。)

■ プレビュー表示 を選択した場合

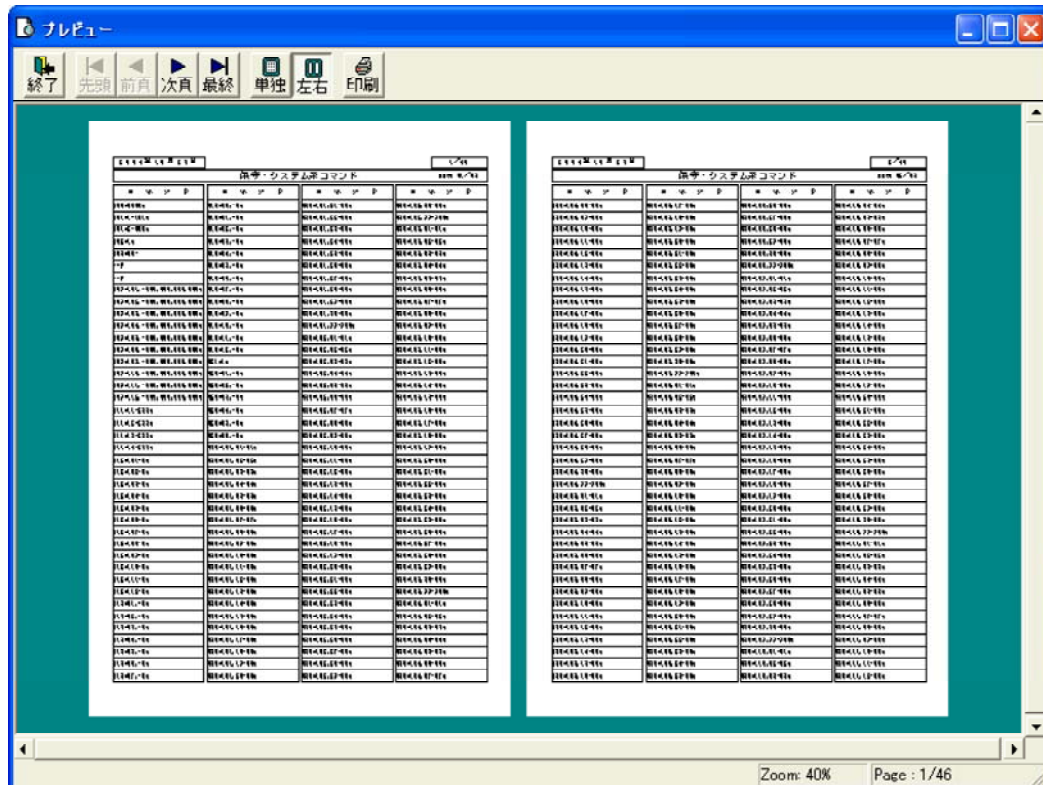
4

『印刷種別選択画面』で **プレビュー表示** をクリックすると、『プレビュー画面』となる。

※プレビュー画面上で左クリックすると拡大表示、右クリックすると縮小表示することができます。

(下の画面は、左右に2ページ表示を行い、縮小表示した例を示しています。)

※パソコンの能力によっても異なりますが、各ボタンの操作ができるまで、しばらく時間がかかります。



●各ボタンの説明



… プレビューを終了します。



… 1ページ毎に表示します。



… 左右に2ページ表示を行います。



… 印刷を行います。(『印刷画面』を表示)



… 先頭のページを表示します。



… 前ページを表示します。



… 次ページを表示します。



… 最終のページを表示します。

5

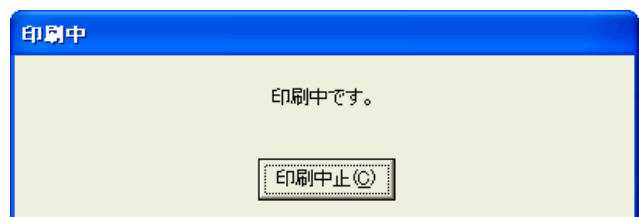
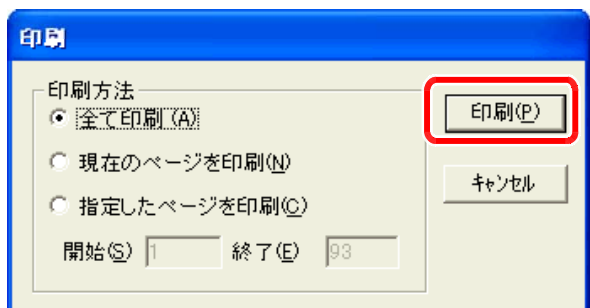
『プレビュー画面』の **印刷** をクリックすると、『印刷画面』となるので、印刷方法を選択し **印刷(P)** をクリックする。

印刷を行わないときは、**キャンセル** をクリックしてください。

★「現在のページを印刷(N)」を選択した場合、プレビュー画面で2ページ表示をしていますが、左側に表示されているページのみ印刷されます。

『印刷中画面』が表示されます。

印刷が終了したら、『プレビュー画面』の **終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。



■ ダイアログ表示 を選択した場合

4

『印刷種別選択画面』で **ダイアログ表示** をクリックすると、『プリンタ選択画面』となる。

注: 画面表示はプリンタによって若干異なります。

●各フィールドの説明

- **プリンタ(P)**… 印刷に使うプリンタを選択します。(複数のプリンタが使用可能なとき)
- **部数(N)**… 印刷部数を指定します。
- **出力用紙指定(O)**… 出力方法を変更するときを使用します。チェックを入れると **プロパティ(S)** が有効になりますので、プリンタのプロパティが設定可能になります。
※プリンタのプロパティでマルチ印刷(2ページ分の割付等)を行う場合も、本画面で印刷方向や縮小拡大(用紙フィット)の設定等が必要になります。どのように印刷されるか、ページ数の少ない「電話機毎短縮印刷」で事前に試してください。
- **給紙(B)**… プリンタで複数の給紙方法が可能なときに選択できます。
- **マルチ印刷(M)**… 「出力用紙指定(O)」にチェックを入れたときに有効です。通常は1枚に1ページ分を印刷しますが、マルチ印刷を指定すると、1枚に2ページ分を印刷します。

<参考>

マルチ印刷で1枚に2ページ分を印刷するときは、下記の設定をしてください。

- 「出力用紙指定(O)」を**チェック**
- **マルチ印刷(M)**: 「横方向(O)」
- 印刷方向: 「横印刷(D)」
- 縮小拡大: 「ON(E)」
- 位置合わせ: 「左上(G)」
- 「用紙フィット(J)」を**指定**

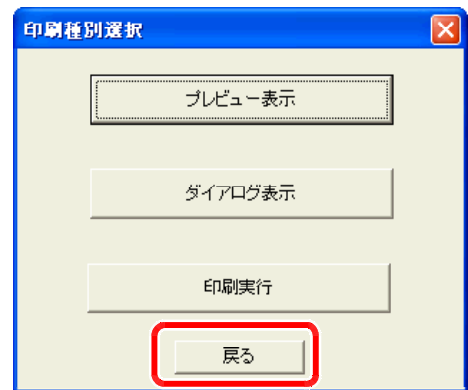
5

『プリンタ選択画面』で **OK** をクリックすると印刷が開始され、『印刷中画面』が表示される。

途中で印刷を中止するときは、**印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了すると『印刷種別選択画面』に戻ります。

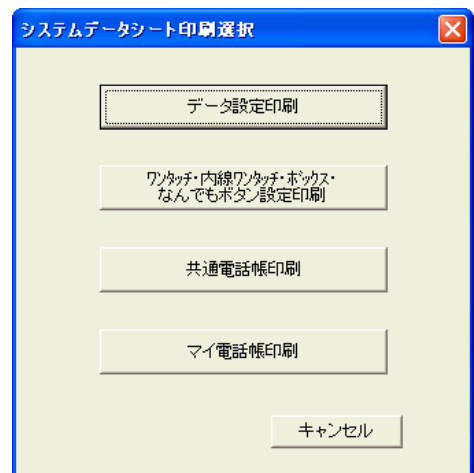
6 『印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする。



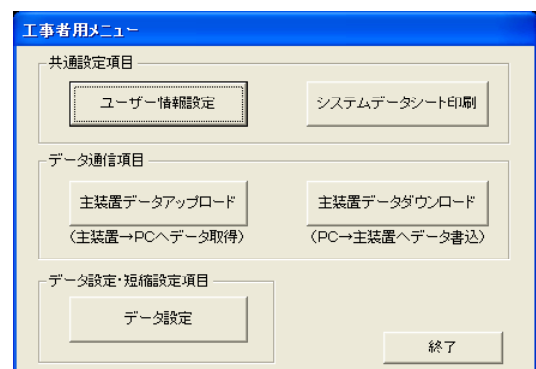
7 『システムデータシート印刷選択画面』となる。

他に印刷したい内容があれば、該当するボタンをクリックし操作3から繰り返します。

他に印刷したい内容がなければ、**キャンセル** をクリックします。



8 『工事者用メニュー画面』に戻る。



6. 主装置データダウンロード～プログラムの終了

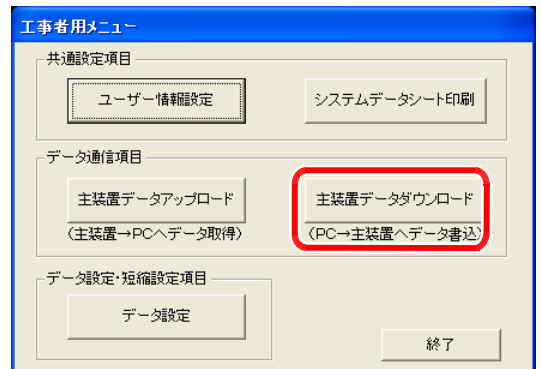
パソコン上にあるデータ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、短縮データを一括で主装置にダウンロードします。下記手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの操作は、P2-2を参照してください。)

★項目毎にダウンロードすることはできませんので、必要な設定を全て完了させてからダウンロードしてください。

1 『工事者用メニュー画面』で、**主装置データダウンロード** をクリックする。

★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「主装置データアップロード」を先に行ってください。

- ①「主装置データアップロード」の実行 ⇒P2-2参照
- ②「ファイルデータ読込」は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正する。⇒P2-6参照
※ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。
- ③「主装置データダウンロード」の実行

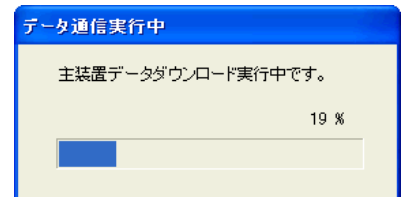
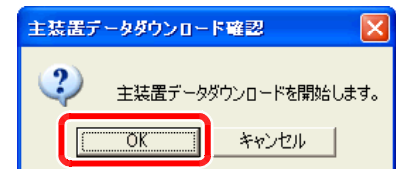
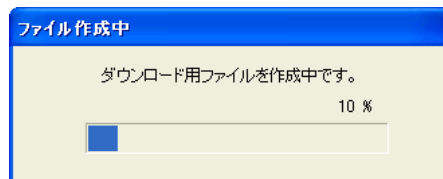


2 『主装置データダウンロード確認画面』となるので、ダウンロードを開始してよい場合は **OK** をクリックする。

★中断できないので注意してください。

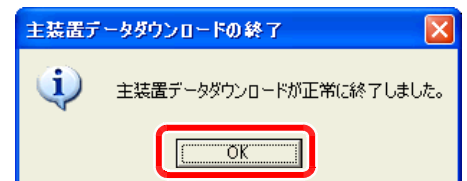
※ **キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。

※ **OK** をクリックすると、『ファイル作成中画面』が表示され、インジケータにファイル作成の進行状況が表示されます。ファイル作成完了後は『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。



ダウンロードが完了すると『主装置データダウンロードの終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



ご注意

★ダウンロード中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となりシステムの初期化が必要です。)

★ダウンロード中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。通信エラーとなった場合は、ダウンロードをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラムブリーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

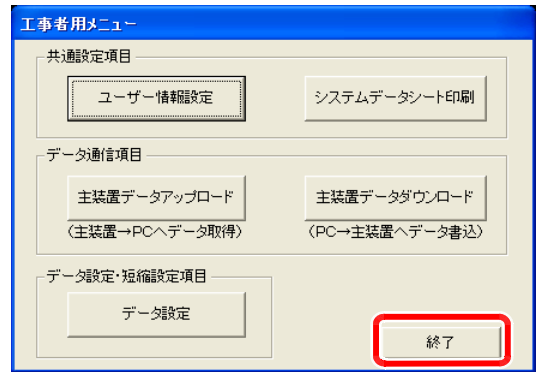
※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

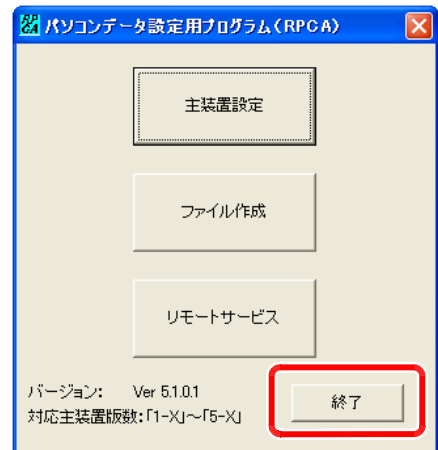
エラー画面(「ポートステータスチェックエラー発生」や「受信タイムアウトエラー発生」)の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P2-2参照)まで戻ってからダウンロードをやり直してください。必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

◆パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

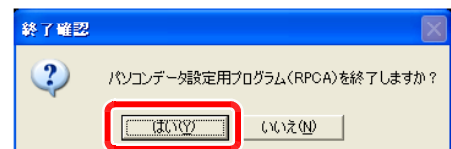
3 『工事者用メニュー画面』に戻る。
作業が全て終了の場合は **終了** をクリックする。



4 『メイン画面』が表示されるので、**終了** をクリックする。



5 『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。
※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



ご注意

★プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定、REGU再生ボタンの自動割り付けを含む)、ストレートラインDIの設定等、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ残りが発生することがありますが、故障ではありません。システムの再立ち上げを行うと正常に戻ります。

下記の操作を行ってください。

①主装置の電源スイッチをOFFにする。 ⇒ ②約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

7. 主装置交換時の処置方法

主装置の故障により主装置交換を行うときは、以下の手順で行ってください。

- ①故障した主装置にパソコンを接続し、本プログラムで主装置のデータをアップロードする。⇒P2-2参照
★アップロードしたデータをそのまま代品の主装置にダウンロードしますので、本プログラムを終了させないでください。また、必要に応じてファイル保存を行ってください。
- ②メニュー機能のみで設定可能なデータ(内線名称等)、「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」、「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンドを紙などに記録する。
- ③代品の主装置のメモリバックアップ用スイッチをONにし、主装置の電源を入れる。
- ④代品の主装置にパソコンを接続する。⇒P1-2参照
- ⑤本プログラムの『メイン画面』(P2-2参照)まで戻る。
★アップロードしたデータをそのまま代品の主装置にダウンロードしますので、本プログラムを終了させないでください。
- ⑥代品の主装置に①で読み込んだデータをダウンロードする。⇒P2-17参照
- ⑦代品の主装置に②で記録したデータの設定を行う。⇒主装置の「取扱説明書」や「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」参照

ご注意

★故障した主装置の電源が立ち上がらない場合は、データのアップロードを行うことができませんので、設置工事が完了したら必ず下記の作業を行っておいてください。

- (1) データ設定のファイル保存
- (2) 共通電話帳のファイル保存
- (3) マイ電話帳のファイル保存

★下記のデータ(ファイル保存できないデータ)は本プログラムで保存できませんので、紙などに記録しておいてください。

- (1) 「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」、「コマンド説明」のコマンド欄に **PC不可** が記載されているコマンド
- (2) メニュー機能のみで設定可能なデータ(内線名称等)
- (3) 設置後に変更されたデータ

1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。

[1] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする (設定済のファイル*1がない場合)

- ①プログラム起動 ⇒P3-2参照
- ②「リモートサービス」を選択 ⇒P3-2参照
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P3-3参照
- ④「リモート主装置データアップロード」、または「リモート短縮データアップロード」を実行 ⇒P3-4参照
- ⑤ファイル保存*2 ⇒P3-10参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定

[2] 主装置からパソコン側にデータをアップロードする (設定済のファイル*1がある場合)

- ①プログラム起動 ⇒P3-2参照
- ②「リモートサービス」を選択 ⇒P3-2参照
- ③設定済ファイル読込*1⇒P3-7参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定
- ④「リモート主装置データアップロード」、または「リモート短縮データアップロード」を実行 ⇒P3-4参照
- ⑤ファイル保存*2 ⇒P3-10参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定

[3] 主装置にデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータをダウンロードする (設定済のファイル*1がない場合)

- ①プログラム起動 ⇒P3-2参照
- ②「リモートサービス」を選択 ⇒P3-2参照
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P3-3参照
- ④「リモート主装置データアップロード」を実行*3 ⇒P3-4参照
- ⑤PCでのデータ作成/変更*4、ファイル保存 ⇒P3-7参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
- ⑥「リモート主装置データダウンロード」を実行 ⇒P3-15参照

[4] 主装置にデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータをダウンロードする (設定済のファイル*1がある場合)

- ①プログラム起動 ⇒P3-2参照
- ②「リモートサービス」を選択 ⇒P3-2参照
- ③設定済ファイル読込*1 ⇒P3-7参照
- ④「リモート主装置データアップロード」を実行*3 ⇒P3-4参照
- ⑤ファイル読込*5、PCでのデータ作成/変更*6
ファイル保存 ⇒P3-7参照
 - データ設定
 - ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタン設定
- ⑥「リモート主装置データダウンロード」を実行 ⇒P3-15参照

[5] 主装置に短縮データをダウンロードする (設定済のファイル*1がない場合)

- ①プログラム起動 ⇒P3-2参照
- ②「リモートサービス」を選択 ⇒P3-2参照
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P3-3参照
- ④「リモート短縮データアップロード」を実行*3 ⇒P3-4参照
- ⑤PCでの短縮データ作成/変更*4、ファイル保存 ⇒P3-7参照
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定
- ⑥「リモート短縮データダウンロード」を実行 ⇒P3-15参照

[6] 主装置に短縮データをダウンロードする (設定済のファイル*1がある場合)

- ①プログラム起動 ⇒P3-2参照
- ②「リモートサービス」を選択 ⇒P3-2参照
- ③設定済ファイル読込*1 ⇒P3-7参照
- ④「リモート短縮データアップロード」を実行*3 ⇒P3-4参照
- ⑤短縮データファイル読込*5、
PCでの短縮データ作成/変更*6、ファイル保存 ⇒P3-7参照
 - 共通電話帳設定
 - マイ電話帳設定
- ⑥「リモート短縮データダウンロード」を実行 ⇒P3-15参照

*1: 発信先の電話番号を抽出するために使用します。

対象となる主装置のデータ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データ(共通電話帳、マイ電話帳)のファイルで、PCリモート用の電話番号が登録(ユーザー情報設定で登録)されているものが必要です。

*2: 必要なものを保存してください。

*3: 初期状態の主装置にダウンロードする場合は不要です。 **★初期状態でない主装置の場合は、必ず実行してください。**

*4: 主装置からアップロードしたデータを変更します。

*5: 主装置にダウンロードするファイルがあるときにのみ、ファイルを読み込みます。

★初期状態でない主装置の場合は、ファイルを読み込まずアップロードしたデータを変更してください。

*6: 読み込んだファイル、または主装置からアップロードしたデータを変更します。(必要時)

2. プログラムの起動

●事前確認

- (1) お客様側の回線は「ナンバー・ディスプレイ」や「INSナンバー・ディスプレイ」を契約しているか？（アナログ回線の場合はコマンド * 410 の設定も必要）
- (2) 主装置側のデータ設定コマンドは設定されているか？（* 034、* 035）
※設定されていない場合は、パソコンリモートサービスはできません。
- (3) パソコンのモデムはコマンド * 035 で設定した回線に接続されているか？（ISDN回線の場合は、TA等のアナログポートにパソコンのモデムを接続する。）
- (4) ダイヤルアップWeb設定用のモデム設定はされているか？（P1-6参照）
- (5) ダイヤルアップWeb設定用IPアドレス * 9406 にIPアドレスの設定はされているか？
- (6) データ設定アプリ用ポート設定 * 9403 は、1（ポートオープン）に設定されているか？
- (7) RMU基板は実装されているか？

★ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、「ナンバー・ディスプレイ」、「INSナンバー・ディスプレイ」の契約や、コマンド * 034、* 035 の設定は不要です。また、発信側・着信側は任意の外線を使用できます。

1

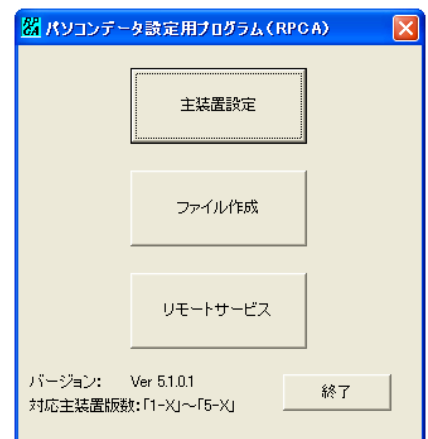
本プログラムを起動すると『メイン画面』が表示される。

●各ボタンの説明

主装置設定 …主装置に接続して、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データのアップロードや、変更、ダウンロードを行う。（詳細は、第2部を参照）

ファイル作成 …主装置に接続せず、事前にデータ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データのファイルを作成、変更するときなどに使用する。

リモートサービス …公衆回線経由で、データ設定やワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、電話帳データのリモートサービスを行う。



2

『メイン画面』で **リモートサービス** をクリックすると、『PCリモートメニュー画面』となる。

●各ボタンの説明 (PCリモート専用)

リモート主装置データアップロード … リモートサービスで主装置側のデータ設定内容（ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータを含む）をパソコン側にアップロードします。

リモート主装置データダウンロード … リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容（ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータを含む）を主装置側にダウンロードします。

リモート短縮データアップロード … リモートサービスで主装置側の共通電話帳およびマイ電話帳をパソコン側にアップロードします。

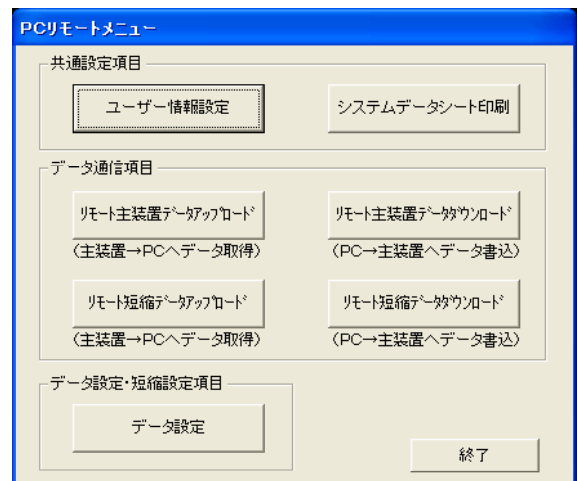
リモート短縮データダウンロード … リモートサービスでパソコン側の共通電話帳およびマイ電話帳を主装置側にダウンロードします。

●各ボタンの説明 (PCデータ設定と同一機能のもの)

ユーザー情報設定 … ユーザーの会社名や電話番号等の情報を登録します。（ファイルに登録情報を付加します。）

システムデータシート印刷 … パソコン上にあるデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データをプリントアウトします。

データ設定 … パソコン上でデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、電話帳データの変更、ファイル保存、ファイル読み込みを行います。



3. ユーザー情報設定

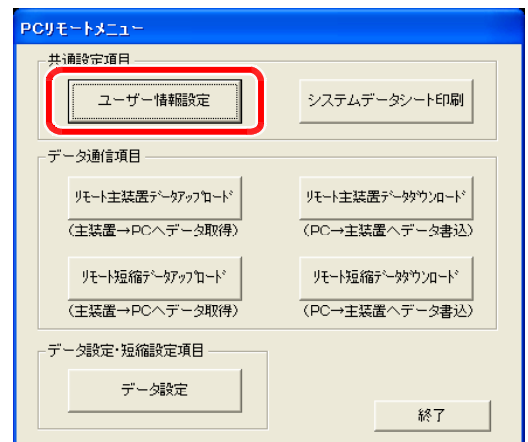
パソコンリモートサービスを行う場合、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に自動的に発信します。
登録する電話番号は、お客様の主装置に設定したPCリモート用外線(ダイヤルアップWeb設定と兼用)に対応する電話番号またはダイヤルイン番号(コマンド * 034で設定)を必ず設定してください。

※ユーザー情報(PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、ワンタッチダイヤル・なんでもワンタッチボタン等のデータ、共通電話帳、マイ電話帳の何れかのファイルを読み込んだときは、本設定は不要です。

★ISDN回線同士でパソコンリモートサービスを行う場合や、お客様と通話してからパソコンリモートサービスを行う場合は、コマンド * 034に対応した電話番号以外を入力することも可能です。

下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

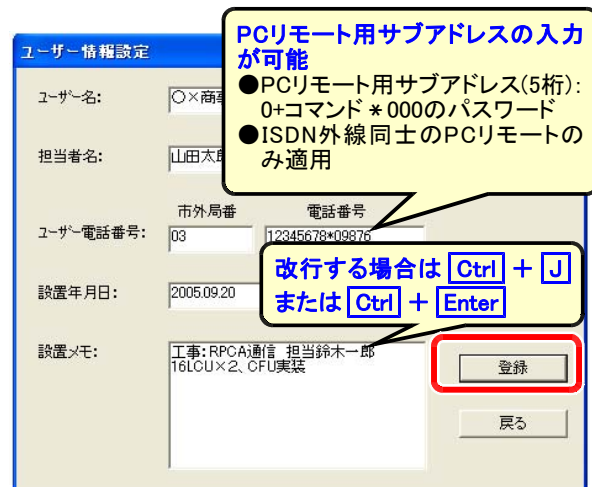
1 『PCリモートメニュー画面』で **ユーザー情報設定** をクリックする。



2 必要事項を記入し、**登録** をクリックする。

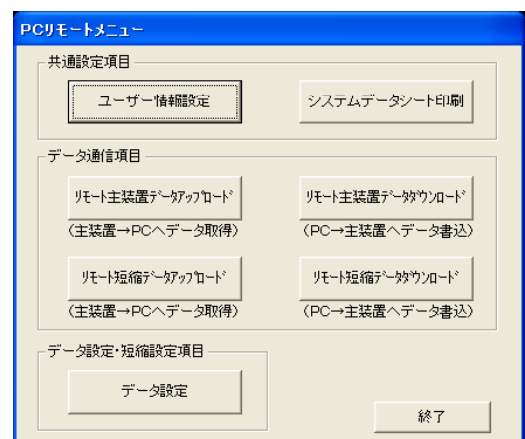
各欄は下記の範囲内で入力してください。
お客様の名前や電話番号等の情報を入力しておきます。
(データ設定内容には影響しません。)

- ユーザー名: 全角12文字(半角24文字)まで
お客様の会社名等を入力してください。
- 担当者名: 全角12文字(半角24文字)まで
ユーザーが会社等で担当の方がいる場合は、担当の方の名前等を入力してください。
- ユーザー電話番号: 半角数字
PCリモート用の電話番号を入力してください。
★ISDN外線同士のPCリモートを行う場合は、下記登録でも可能:
電話番号(コマンド * 034以外も可) + *(注) + PCリモート用サブアドレス5桁(0 + コマンド * 000のパスワード)
- 設置年月日: 全角12文字(半角24文字)まで
- 設置メモ: 全角36文字(半角72文字)まで
改行も全角1文字とみなします。



(注) * はサブアドレスの区切りです。接続するTAの仕様に従ってください。

3 『PCリモートメニュー画面』に戻る。



4. リモート主装置データアップロード／リモート短縮データアップロード

主装置のデータ設定(ワンタッチダイヤルボタン・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳データをリモートサービスによってパソコンにアップロードします。

※データ設定(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、短縮データ(共通電話帳およびマイ電話帳)は個別にアップロードします。

※アップロードを行う前に下記の何れかを行う必要があります。

- ・「ユーザー情報設定」でユーザー名や電話番号を登録する。(P3-3参照)
- ・ユーザー情報(PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、共通電話帳、マイ電話帳の何れかのファイルを読み込む。(P3-7参照)

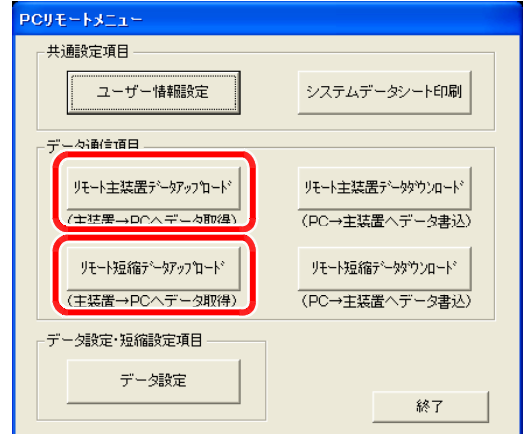
下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データアップロード … リモートサービスで主装置側のデータ設定内容(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)をパソコン側にアップロードするとき

リモート短縮データアップロード … リモートサービスで主装置側の共通電話帳およびマイ電話帳をパソコン側にアップロードするとき

★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「リモート主装置データアップロード」や「リモート短縮データアップロード」を先に行ってください。



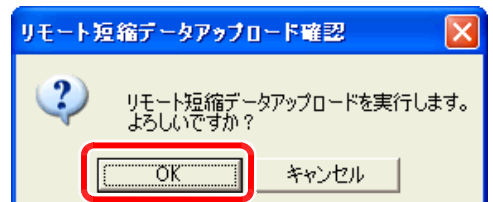
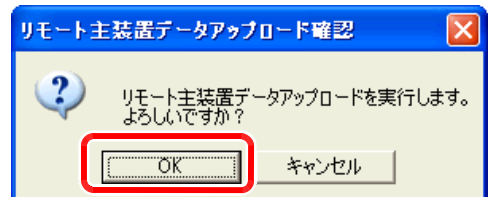
2 『リモート主装置データアップロード確認画面』または『リモート短縮データアップロード確認画面』が表示される。

これからアップロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

★短縮データをアップロードしようとして「リモート主装置データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データ以外の設定内容が変更されてしまいますので注意してください。

★データ設定をアップロードしようとして「リモート短縮データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。



3 『発信先選択画面』が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号に誤りがないか確認し、**発信** をクリックする。

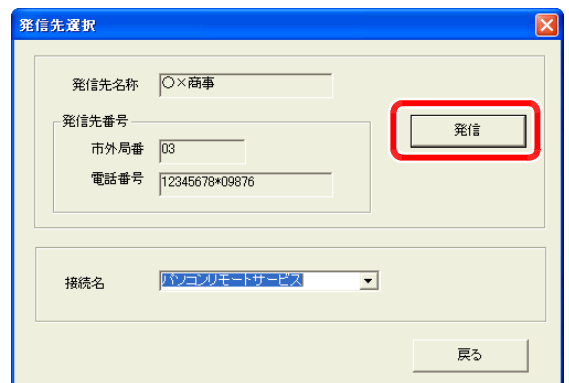
※「接続名」が表示されない場合は、ダイヤルアップ接続が設定されていません。

設定方法は、本マニュアルの「1-8 ダイヤルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)」(P1-6)を参照してください。(ダイヤルアップ接続にて電話番号を設定しますが、「パソコンリモートサービス」を利用するときは、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に発信します。)

★発信先番号に誤りがある場合は、「ユーザー情報設定」をやり直してください。(P3-3参照)

●各フィールドの説明

- ・発信先名称 … 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー名」に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 … 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー電話番号」に登録されている内容が表示されます。



4

『主装置接続中画面』が表示される。

※『主装置接続中画面』が表示されている間は、 をクリックすると通信を切断し『発信先選択画面』に戻ります。

主装置との接続が完了すると、『データ通信実行中画面』が表示される。

(右図は「リモート主装置データアップロード」の例)

※インジケータにアップロードの進行状況が表示されます。

※エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の をクリックすると『発信先選択画面』に戻ります。

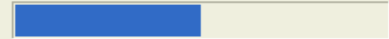
主装置接続中

接続状態： 主装置呼出中

データ通信実行中

リモート主装置データアップロード実行中です。

41 %



5

アップロードが完了すると『リモート主装置データアップロードの終了画面』が表示されるので、 をクリックする。

(「リモート主装置データアップロード」の例)

※「リモート短縮データアップロード」の場合は、『リモート短縮データアップロードの終了画面』が表示されます。

リモート主装置データアップロードの終了



リモート主装置データアップロードが正常に終了しました。

ご注意

★リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面の をクリックし、『メイン画面』(P3-2)まで戻ってからアップロードをやり直してください。

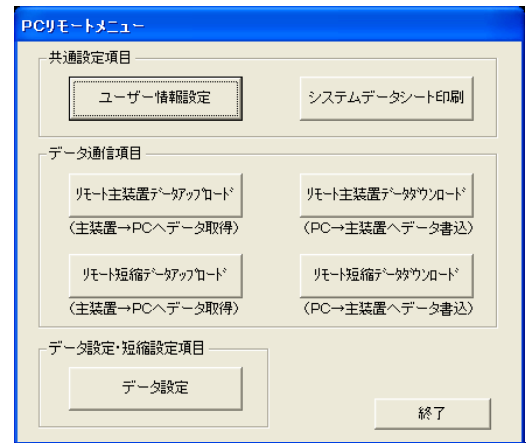
パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。

他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

「リモート主装置データアップロード」に「リモート短縮データアップロード」(または「リモート短縮データアップロード」以外に「リモート主装置データアップロード」)も行う場合は、操作1から繰り返します。

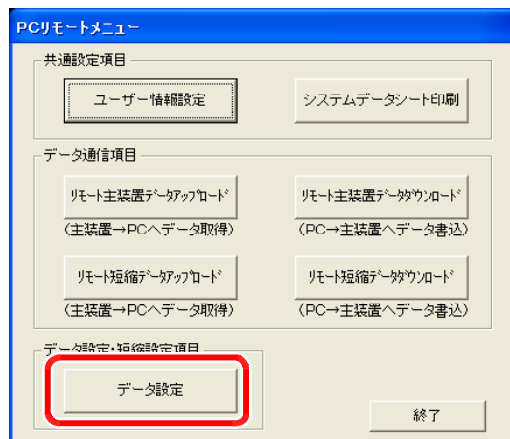
※ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータは、データ設定と共にアップロードされます。



5. データ設定

データ設定、ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータ、共通電話帳、マイ電話帳のファイル設定や変更、ファイル保存やファイル読込ができます。(第2部《パソコンデータ設定編》と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で **データ設定** をクリックする。



2 『メニュー選択画面』となる。

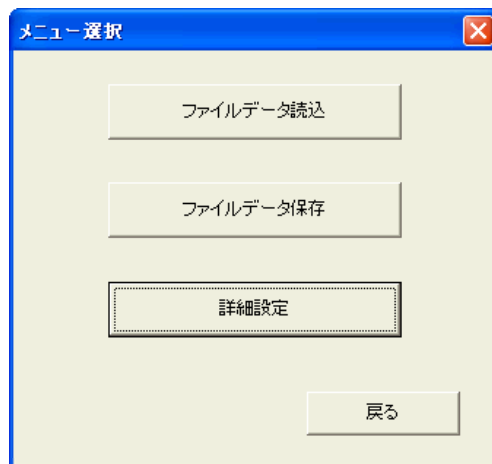
●各ボタンの説明

ファイルデータ読込 … 事前設定またはバックアップしたデータ設定や電話帳データ等の設定ファイルを読み込みます。

ファイルデータ保存 … パソコン上にあるデータ設定や電話帳データ等をファイル保存します。⇒P3-10参照

詳細設定 … パソコン上でデータ設定や電話帳等を変更します。

戻る … 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。

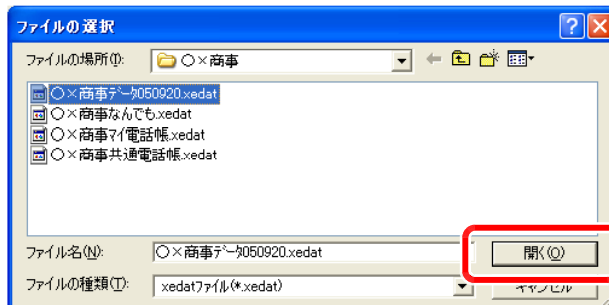
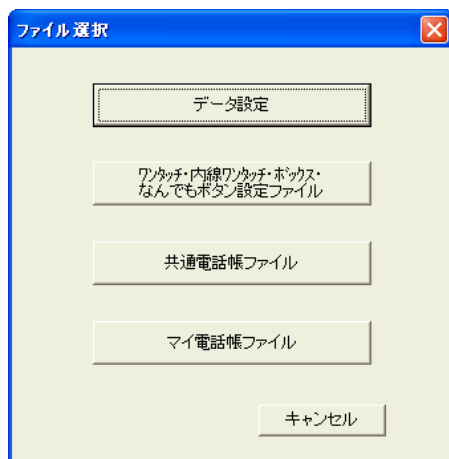


★既に作成済のファイルを修正するときは、「詳細設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

① 『メニュー選択画面』で **ファイルデータ読込** をクリックします。

② 『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択します。

③ 読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



操作2の『メニュー選択画面』で **【詳細設定】** をクリックすると、「Internet Explorer」が起動され、設定用のWeb画面が表示される。

- 各ページを開くと、現在の設定内容(アップロードしたときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 下記に設定用のWeb画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。
- 下記の画面は概略の説明用です。表示内容は実際と多少異なる場合があります。

各コマンド区分毎に、コマンド番号順に分類されています。

- コマンド区分をクリックすると、ページ一覧およびコマンド番号が表示されます。該当するページをクリックし、各設定を行います。
- 現在表示しているページは色を変えて表示します。

外線系その他のコマンド

*610 【転送電話の転送先呼出時間】

転送電話の一回の呼出時間を設定します。(設定単位は10秒毎です。)

転送先呼出時間

20秒 30秒 40秒 50秒 60秒

70秒 80秒 90秒 100秒

*611 【転送電話通話時間】

転送電話の通話成立後、強制切替までの通話時間を設定します。

転送電話通話時間

10分 20分 30分 40分 50分

60分 70分 80分 90分 100分

110分 120分 130分 140分 150分

▲ページTOP

PAGE1600~609 << 登録 >> PAGE3015

現在表示しているコマンド区分の前ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているコマンド区分の次ページに移動するときをクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

※「■ 保守Web設定」は選択しても機能しません。

ご注意

★同じ値を複数箇所に重複設定できないデータ設定コマンド(例: *030、*081、*082、*084、等)にて、重複設定した場合、電話機からの登録と異なり、最後に入力したデータが必ずしも有効にはなりません。また、設定範囲外のデータを入力可能な場合があります。 **【登録】** をクリックすると更新結果が表示されますので、間違いがないか確認してください。

必要な項目を設定する

- 「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の各コマンド説明を見ながら設定を行ってください。
- 下記に示す4種類の入力方法(表示のみを含む)があります。

種類	表示例	操作方法
ラジオボタン	機能 <input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	設定する項目をクリックします。
リストボックス	データ設定用電話機 101 ▼	プルダウン表示される候補を選択します。
エディットボックス	パスワード 0000	直接入力します。設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、電話機からのデータ設定と異なりエラー表示しません。必ずデータ設定マニュアルを参照して有効な値を入力してください。
表示のみ	対象電話機 101 接続状態	モニタのみ可能で入力できません。

- 主装置のシステムデータ設定以外に下記の設定を行うことができます。

①共通電話帳(システム短縮)、マイ電話帳(電話機毎短縮)：

電話機からの登録と同様に、電話番号・名前・ヨミガナを入力します。

一部の記号を電話番号欄に入力できます。詳細は取扱説明書の「電話帳を登録する」を参照してください。共通電話帳(システム短縮)は、リストボックスで短縮グループも選択します。

★電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク(■)が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

②なんでもワンタッチボタン：

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機からのみ登録可能なボタンが既に登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン(右下の表に示す項目を含む)のみ登録が可能です。

1	現在の登録	登録なし	現在の登録内容を表示します。	ボタン以外の項目	備考
	新しい登録	登録なし	登録するボタンをプルダウンで表示されるものから選択します。		
2	現在の登録	登録なし		登録なし	操作を登録しません。「登録なし」を登録した箇所以降の操作は無視されます。
	新しい登録	登録なし		変更不可	現在の登録のままとします。

③ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタン：

現在の登録内容が別枠で表示されます(プログラマブルキーとして登録してあるボタンを含む)。

リストボックスに表示される機能(下表参照)を選択し、設定値を入力します。

	現在の登録	機能選択	設定値
KEY01:	外線01	変更なし	01
KEY02:	外線02	変更なし	02
KEY13:	機能なし	変更なし	101

現在の登録内容を表示します。

登録するボタンの種類をプルダウンで表示されるものから選択します。

各ボタンに登録する設定値(3桁)を入力します。

※「内線ワンタッチボタン」は、内線番号のみサポートしています。

「内線一斉呼出」や「外部スピーカ呼出」等の特番を「内線ワンタッチボタン」に登録する場合は、電話機から行ってください。

機能選択	設定値	備考
変更なし	—	現在の登録内容のままとするときを選択します。
クリア	—	現在の登録を消去します。プログラマブルキーが登録されているときも消去されますので、注意してください。
ワンタッチ	短縮番号(3桁)	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。
内線ワンタッチ	電話機収容位置(3桁)	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。
ボックス	電話機収容位置(3桁)	内線ボックスボタンを登録します。電話機からの登録と異なり、設定値は「内線番号」でなく「収容位置」を入力します。

5

表示しているページ内の設定が完了したら画面一番下の **登録** をクリックする

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

6

全ての設定が終了したら「Internet Explorer」を終了する

※「Internet Explorer」を閉じても設定内容は、消えません。

7

『メニュー選択画面』となるので、**ファイルデータ保存** をクリックする。

8

『ファイル選択画面』となるので、保存したいファイルの種類を選択し、クリックする。

●各ボタンの説明

データ設定 … Web画面で設定したデータ設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約 6.3MB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約21.0MB

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定ファイル … Web画面で設定したワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタンの設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約800KB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約2.2MB

共通電話帳ファイル … Web画面で設定した共通電話帳の設定内容をファイル保存します。

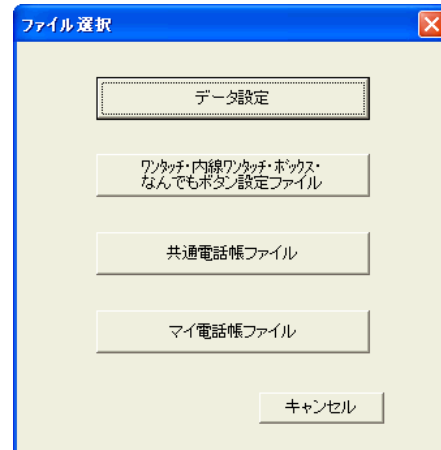
★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約80KB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約80KB
(システム短縮ダイヤルのメモリ数=990件のとき)

マイ電話帳ファイル … Web画面で設定したマイ電話帳の設定内容をファイル保存します。

★保存に必要な容量:

- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA) :約50KB
- ・パソコンデータ設定用プログラム(RPCA/L):約50KB
(システム短縮ダイヤルのメモリ数=600件のとき)



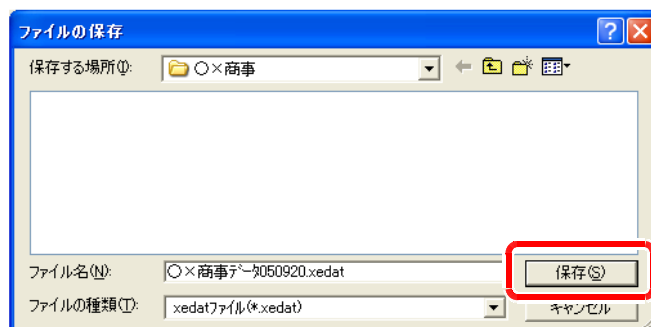
9

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする。

現在パソコン上にあるデータ設定内容がファイル保存されます。(3章で登録した「ユーザー情報設定」の内容も一緒に保存されます。)

※お客様毎にファイルフォルダを作ると管理しやすくなります。

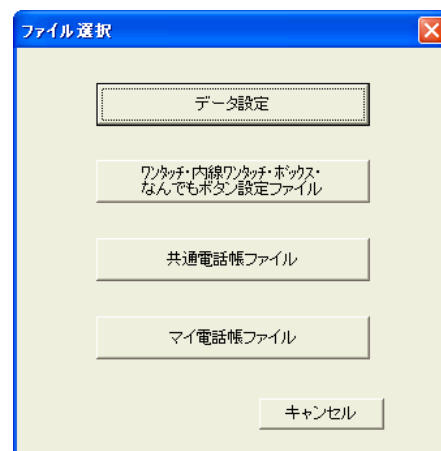
※共通電話帳、マイ電話帳、ワンタッチダイヤルボタン等のファイルも同一ファイル形式となりますので、後でわかるように必ず名前を分けてファイル名を付けてください。(例:ユーザー名+データ設定、データ、等)



10

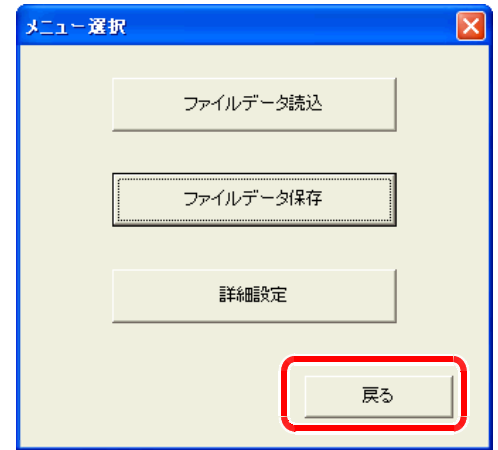
『ファイル選択画面』に戻る。

保存したいファイルが他にあれば操作8～操作9を繰り返し、保存するファイルがなければ、**キャンセル** をクリックする。



11

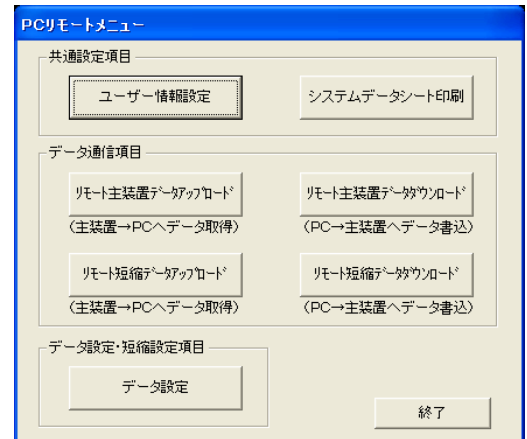
『メニュー選択画面』となるので、**戻る** をクリックする。



12

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

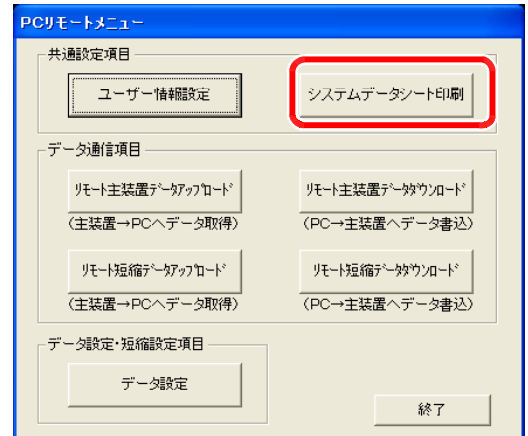
- 設定したデータを主装置にダウンロードする場合は…
P3-15を参照してください。
- 設定したデータを印刷する場合は…
P3-13を参照してください。



6. システムデータシート印刷

パソコンに接続したプリンタでデータ設定や短縮の設定内容を印刷できます。(第2部《パソコンデータ設定編》と同様) 下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1 『PCリモートメニュー画面』で **システムデータシート印刷** をクリックする。



2 『システムデータシート印刷選択画面』となるので、印刷したい内容のボタンをクリックする。

●各ボタンの説明

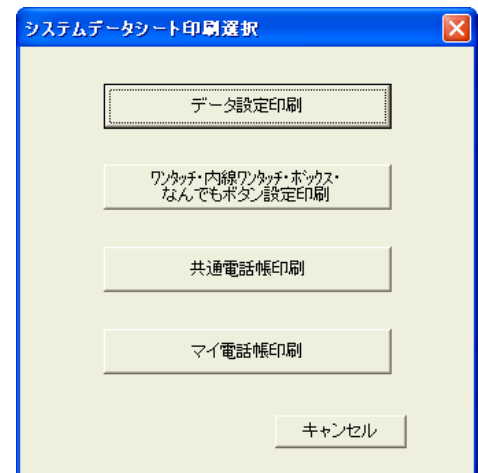
データ設定印刷 … パソコン上にあるデータ設定内容を印刷します。

ワンタッチ・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもボタン設定印刷 … パソコン上にあるワンタッチダイヤルボタン等の登録内容を印刷します。(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタンの登録内容の後に、なんでもワンタッチボタンの登録内容を印刷します。)

共通電話帳印刷 … パソコン上にある共通電話帳データを印刷します。

マイ電話帳印刷 … パソコン上にあるマイ電話帳データを印刷します。

キャンセル … 『PCリモートメニュー画面』に戻ります。



3 『印刷種別選択画面』となります。

●各ボタンの説明

プレビュー表示 … 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。

(詳細は第2部のP2-14参照)

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

ダイアログ表示 … プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(詳細は第2部のP2-15参照)

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

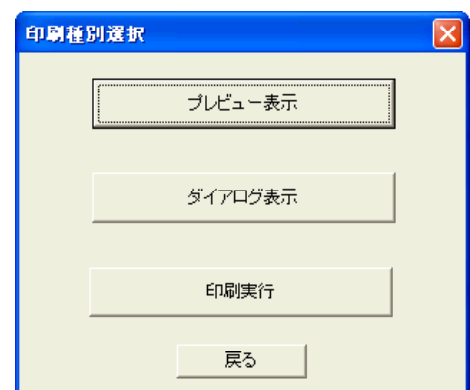
印刷実行 … 印刷を実行します。

※プリンタの指定はできません。「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

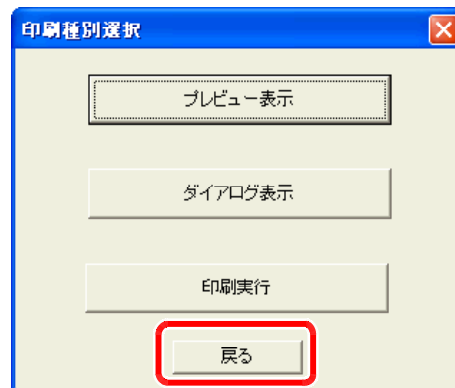
戻る … 『システムデータシート印刷選択画面』に戻ります。



4 印刷が終了したら、『印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする。

※『プレビュー画面』から印刷したときは、『プレビュー画面』の**終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。

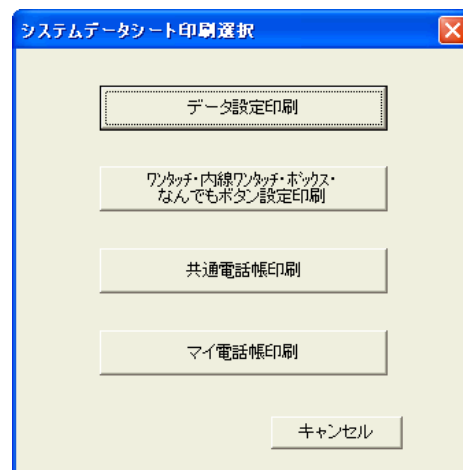
※その他の印刷種別を選択した場合は、印刷が終了すると『印刷種別選択画面』に戻ります。



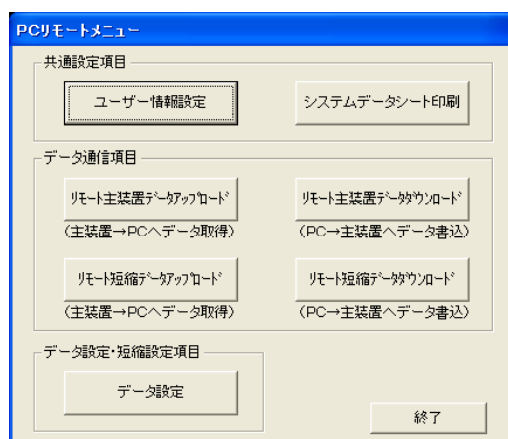
5 『システムデータシート印刷選択画面』となる。

他に印刷したい内容があれば、該当するボタンをクリックし操作3から繰り返します。

他に印刷したい内容がなければ、**キャンセル** をクリックします。



6 『PCリモートメニュー画面』に戻る。



7. リモート主装置データダウンロード／リモート短縮データダウンロード～プログラムの終了

パソコン側のデータ設定(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳データをリモートサービスによって主装置にダウンロードします。

※データ設定(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)、電話帳データ(共通電話帳およびマイ電話帳)は個別にダウンロードします。

※ダウンロードを行う前に下記の何れかを行う必要があります。

- ・「ユーザー情報設定」でユーザー名や電話番号を登録する。(P3-3参照)
- ・ユーザー情報(PCリモートサービス用の電話番号が登録されていること)が保存されているデータ設定、ワンタッチダイヤルボタン等のデータ、共通電話帳、マイ電話帳の何れかのファイルを読み込む。(P3-7参照)

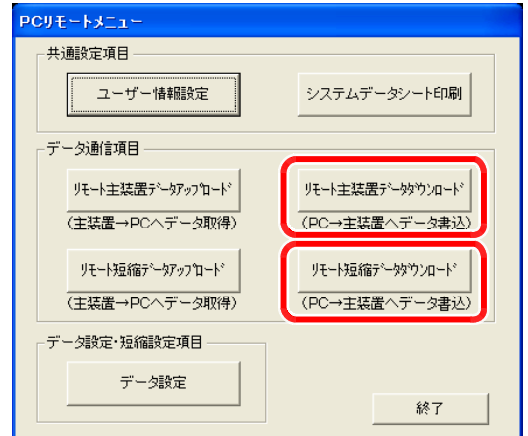
下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1

『PCリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データダウンロード … リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)を主装置側にダウンロードするとき

リモート短縮データダウンロード … リモートサービスでパソコン側の共通電話帳およびマイ電話帳データを主装置側にダウンロードするとき



★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳を変更・追加している可能性がありますので、必ず「リモート主装置データアップロード」や「リモート短縮データアップロード」を先に行ってください。

- ①「リモート主装置データアップロード」、「リモート短縮データアップロード」の実行(必要なもの) ⇒P3-4参照
- ②「ファイルデータ読込」は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正する。 ⇒P3-7参照
※ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。
- ③「リモート主装置データダウンロード」、「リモート短縮データダウンロード」の実行(必要なもの)

2

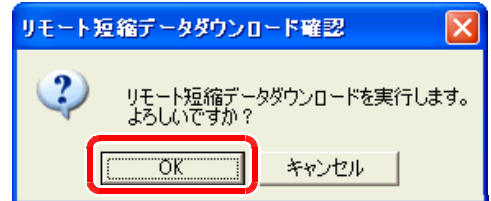
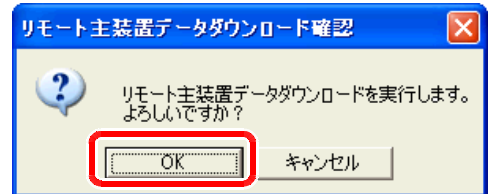
『リモート主装置データダウンロード確認画面』または『リモート短縮データダウンロード確認画面』が表示される。

これからダウンロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

★短縮データをダウンロードしようとして「リモート主装置データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データ以外の設定内容が変更されてしまいますので注意してください。

★データ設定をダウンロードしようとして「リモート短縮データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。



3

『発信先選択画面』が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号に誤りがないか確認し、**発信** をクリックする。

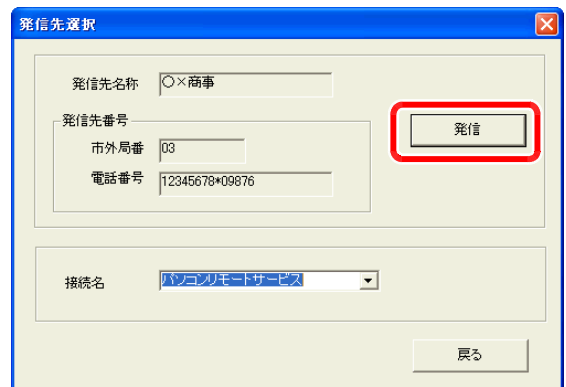
※「接続名」が表示されない場合は、ダイヤルアップ接続が設定されていません。

設定方法は、本マニュアルの「1-8 ダイヤルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)」(P1-6)を参照してください。(ダイヤルアップ接続にて電話番号を設定しますが、「パソコンリモートサービス」を利用するときは、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に発信します。)

★発信先番号に誤りがある場合は、「ユーザー情報設定」をやり直してください。(P3-3参照)

●各フィールドの説明

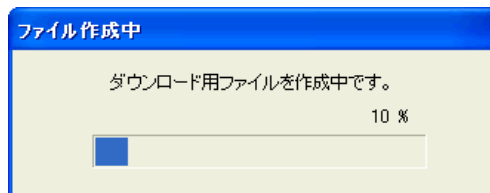
- ・発信先名称 … 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー名」に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 … 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー電話番号」に登録されている内容が表示されます。



4

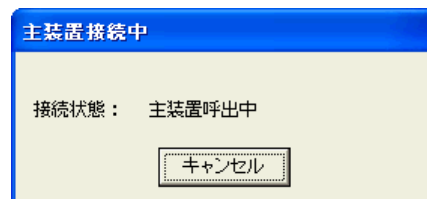
『ファイル作成中画面』が表示される。(「リモート主装置データダウンロード」の場合のみ)

※インジケータにファイル作成の進行状況が表示されます。



ファイル作成完了後は『主装置接続中画面』が表示される

※『主装置接続中画面』が表示されている間は、**キャンセル** をクリックすると通信を切断し『発信先選択画面』に戻ります。

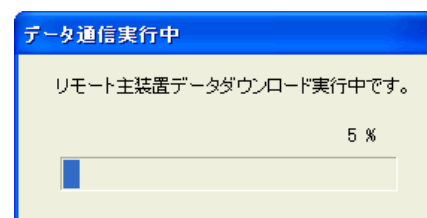


主装置との接続が完了すると、『データ通信実行中画面』が表示される。

(右図は「リモート主装置データダウンロード」の例)

※インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。

※エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると『発信先選択画面』に戻ります。

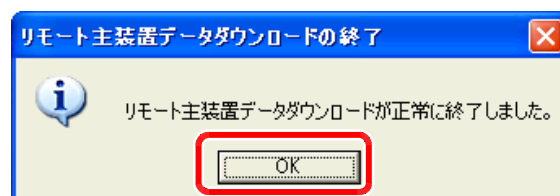


5

ダウンロードが完了すると『リモート主装置データダウンロードの終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする。

(「リモート主装置データダウンロード」の例)

※「リモート短縮データダウンロード」の場合は、『リモート短縮データダウンロードの終了画面』が表示されます。



ご注意

★リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にダウンロードすると、システムが使用不可となりシステムの初期化が必要です。)

★リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P3-2)まで戻ってからダウンロードをやり直してください。

必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。

他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

★プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定、REGU再生ボタンの自動割り付けを含む)、ストレータインDIの設定等、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ残りが発生することがありますが、故障ではありません。システムの再立ち上げを行うと正常に戻ります。

お客様に事情を説明し、下記操作をお願いしてください。

①主装置の電源スイッチをOFFにする。 ⇒ ②約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

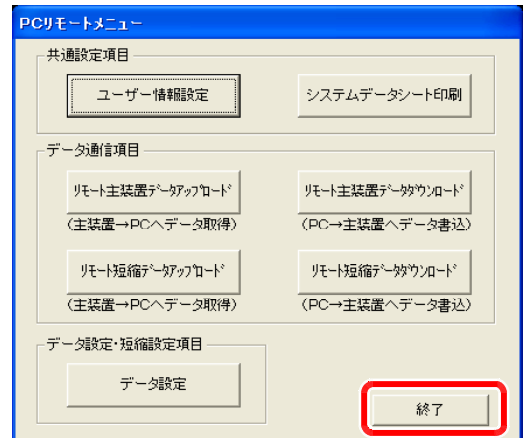
6

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

「リモート主装置データダウンロード」以外に「リモート短縮データダウンロード」(または「リモート短縮データダウンロード」以外に「リモート主装置データダウンロード」)も行う場合は、操作1から繰り返します。

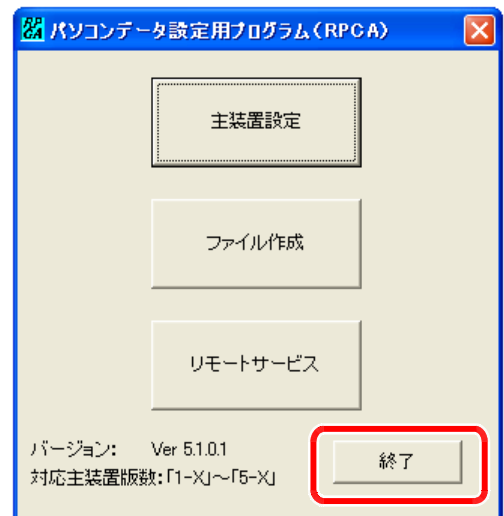
※ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータは、データ設定と共にダウンロードされます。

作業が全て終了の場合は、**終了** をクリックします。



7

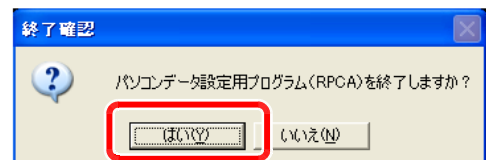
『メイン画面』が表示されるので、**終了** をクリックする。



8

『終了確認画面』で **はい(Y)** をクリックする。

※ **いいえ(N)** をクリックすると『メイン画面』に戻ります。



8. お客様と通話後にリモートサービスを行うとき

お客様と通話したあと、通話をしていた回線を使ってリモートサービスを行うことができます。

★通話後にリモートサービスに入るため、お客様側の操作も必要となります。簡単な操作ですので、お客様に操作方法を説明してください。

★お客様に電話をかけるときはモデムに接続した単独電話機からダイヤルしますが、「ユーザー情報設定」で電話番号を入力しないとリモートサービスを行えません。(P3-3参照)

★使用できるモデムは単独電話機が外付けできるタイプで、「Manual Dial」機能をサポートしているものに限りです。

●事前設定

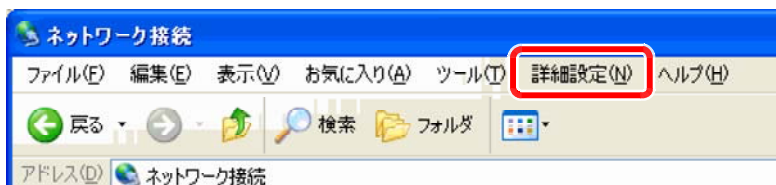
(1)Windows® 98SE、Windows® Me… 本マニュアルの「1-8 ダイヤルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)」の操作⑨(P1-7)を参照してください。

(2)Windows® 2000、Windows® XP… 下記の設定を行ってください。

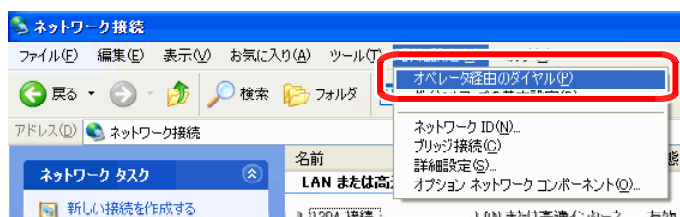
1 [コントロール パネル(C)]から[ネットワークとインターネット接続]をクリックし、『ネットワークとインターネット接続 画面』の[ネットワーク接続]をクリックする(カテゴリ表示の場合)。

[コントロール パネル(C)]から[ネットワーク接続]をダブルクリックする(クラシック表示の場合)。

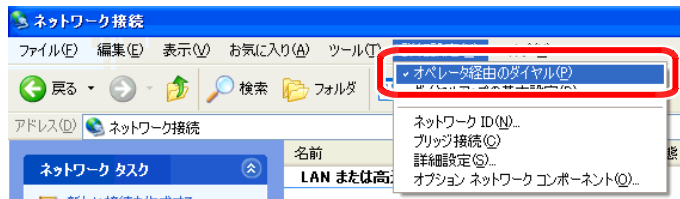
2 『ネットワーク接続 画面』の[詳細設定(N)]をクリックする。



3 [オペレータ経由のダイヤル(P)]をクリックする。



4 再度、『ネットワーク接続 画面』の[詳細設定(N)]をクリックし、[オペレータ経由のダイヤル(P)]にチェックが入っているのを確認して、画面を閉じる。



● 操作手順

下記手順で行います。(『PCリモートメニュー画面』を表示するまでの操作は、P3-2を参照してください。)

1

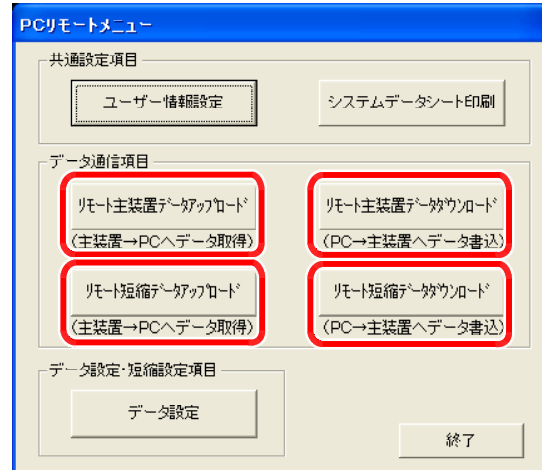
『PCリモートメニュー画面』で、下記の何れかのボタンをクリックする。

リモート主装置データアップロード … リモートサービスで主装置側のデータ設定内容(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)をパソコン側にアップロードするとき

リモート短縮データアップロード … リモートサービスで主装置側の共通電話帳およびマイ電話帳データをパソコン側にアップロードするとき

リモート主装置データダウンロード … リモートサービスでパソコン側のデータ設定内容(ワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックス・なんでもワンタッチボタンのデータを含む)を主装置側にダウンロードするとき

リモート短縮データダウンロード … リモートサービスでパソコン側の共通電話帳およびマイ電話帳データを主装置側にダウンロードするとき



★新規工事以外で設定を変更する場合は、お客様がワンタッチダイヤル・内線ワンタッチ・ボックスボタン、なんでもワンタッチボタン、電話帳を変更・追加している可能性がありますので、「リモート主装置データダウンロード」や「リモート短縮データダウンロード」を行う前に、必ず「リモート主装置データアップロード」や「リモート短縮データアップロード」を先に行ってください。

- ①「リモート主装置データアップロード」、「リモート短縮データアップロード」の実行(必要なもの) ⇒P3-4参照
- ②「ファイルデータ読込」は行わずにアップロードしたデータをそのまま修正する。 ⇒P3-7参照
※ファイルを読み込むと、アップロードしたデータが読み込んだファイルのデータに置き換えられます。
- ③「リモート主装置データダウンロード」、「リモート短縮データダウンロード」の実行(必要なもの)

2

『PCリモートメニュー画面』でクリックしたボタンに対応する『確認画面』が表示される。

これからアップロードまたはダウンロードしようとしているデータの場合は **OK** をクリックする。

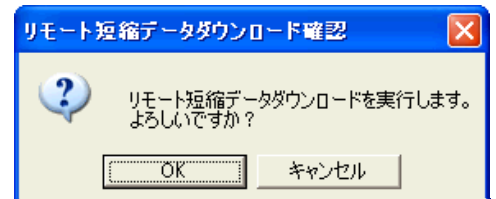
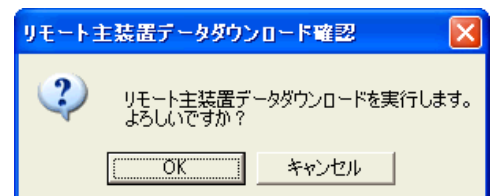
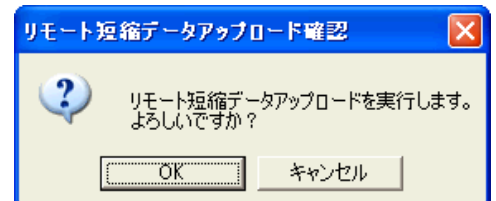
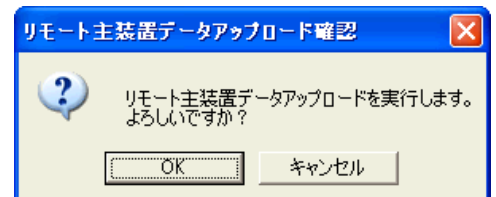
間違った場合は、**キャンセル** をクリックする。

★短縮データをアップロードしようとして「リモート主装置データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データ以外の設定内容が変更されてしまいますので注意してください。

★データ設定をアップロードしようとして「リモート短縮データアップロード」を間違えて実行すると、パソコン側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。

★短縮データをダウンロードしようとして「リモート主装置データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データ以外の設定内容が変更されてしまいますので注意してください。

★データ設定をダウンロードしようとして「リモート短縮データダウンロード」を間違えて実行すると、主装置側の短縮データが変更されてしまいますので注意してください。



3

『発信先選択画面』が表示される。

表示されている発信先名称、発信先番号に誤りがないか確認し、**発信** をクリックする。

※「接続名」が表示されない場合は、ダイヤルアップ接続が設定されていません。

設定方法は、本マニュアルの「1-8 ダイヤルアップ接続の設定方法(パソコンリモートサービス利用時)」「P1-6」を参照してください。(ダイヤルアップ接続にて電話番号を設定しますが、「パソコンリモートサービス」を利用するときは、「ユーザー情報設定」で登録した電話番号に発信します。)

●各フィールドの説明

- ・発信先名称 … 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー名」に登録されている内容が表示されます。
- ・発信先番号 … 『ユーザー情報設定画面』の「ユーザー電話番号」に登録されている内容が表示されます。

4

『オペレータ経由または手動呼び出し画面』が表示されるので、モデムに接続した単独電話機からダイヤルする。

※『主装置接続中画面』も同時に表示されます。

★『オペレータ経由または手動呼び出し画面』が一番上に表示されていない場合は、ボタン操作が可能な位置まで『オペレータ経由または手動呼び出し画面』を移動してください。

★「リモート主装置データダウンロード」を行う場合は、最初に『ファイル作成中画面』が表示され、ファイル作成が完了すると『オペレータ経由または手動呼び出し画面』が表示されます。

5

お客様が電話に出たら、これからリモートサービスを行うことを伝え、お客様に下記操作を行ってもらう。

- ① **i** ボタンを押す ⇒ **i** ランプが点灯します。
- ② 通話している **外線** ボタン(緑点灯、周期的に2回消える)を押す ⇒ **i** ランプが早点滅します。
※ **i** ランプが早点滅しない場合は、しばらくしてから再度 **外線** ボタンを押します。
- ③ **保留** ボタンを押し、ハンドセットを置く ⇒ **i** ランプが消灯し、**外線** ランプが赤点灯します。

6

単独電話機からDIDの一時応答音が聞こえるので、単独電話機で下記の操作をする。

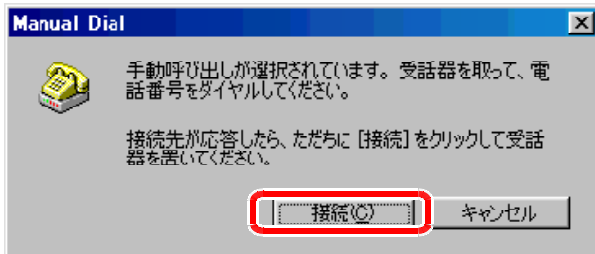
① **#** + ユーザ用パスワード(4桁)を押す ⇒ 連続音(ブー)が聞こえます。

※ ユーザ用パスワードはコマンド * 083で設定、未設定時は **#** のみ押します。このとき、保留音は聞こえません。

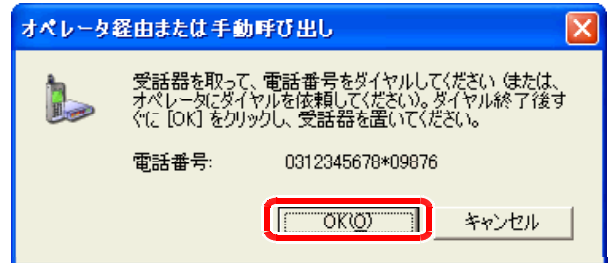
② **0** + リモートサービス用パスワード(4桁) + **#** を押す

※ リモートサービス用パスワードはコマンド * 000で設定します。

③ただちに『Manual Dial 画面』の **接続(C)** をクリックし、単独電話機を終話する
(Windows® 98SE、Windows® Me の場合)



③ただちに『オペレータ経由または手動呼び出し画面』の **OK(O)** をクリックし、単独電話機を終話する
(Windows® 2000、Windows® XP の場合)



★操作②が完了してから単独電話機を終話するまでを3秒以内に行ってください。
操作が遅れると、モデム通信が開始できなくなります。

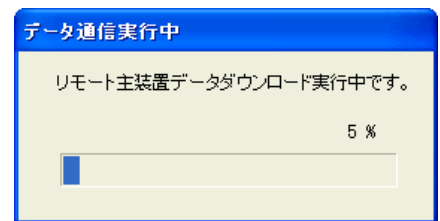
7

『Manual Dial 画面』、『オペレータ経由または手動呼び出し画面』が消え、『データ通信実行中画面』が表示される。

(右図は「リモート主装置データダウンロード」の例)

※インジケータにダウンロードの進行状況が表示されます。

※エラーがあった場合はエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると『発信先選択画面』に戻ります。



ご注意

★リモート通信中は、パソコン側で他のアプリケーションを使用しないでください。通信エラーとなることがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中にアップロードしたデータを主装置にダウンロードすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★リモート通信中は、電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーとなることがあります。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。(お客様と事前に連絡をとってからリモートサービスを実施してください。)

※上記以外の場合でもエラーとなることがあります。

●エラーとなった場合は…

エラー画面の **OK** をクリックし、『メイン画面』(P3-2)まで戻ってからアップロードまたはダウンロードをやり直してください。ダウンロードを行った場合は、必ず、ダウンロードを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

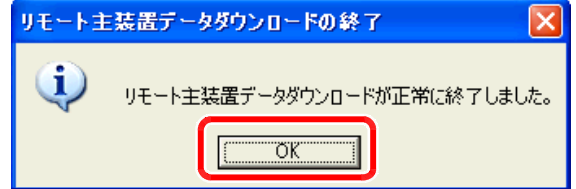
パソコンのスペック不足やメモリに多くのアプリケーションが常駐しているとエラーが発生しやすくなります。他のアプリケーションを終了したり、[画面のプロパティ]の[設定]タブでディスプレイの色を減らすことで回避できる場合があります。

8

アップロードまたはダウンロードが完了すると、該当する機能の終了画面が表示されますので、**OK** をクリックします。

(右図はリモート主装置データダウンロードの例)

★リモートサービス終了後は回線が自動的に切断され、通話に戻ることはできません。



9

『PCリモートメニュー画面』に戻る。

他のPCリモートサービスも必要な場合は、操作1から繰り返します。

作業が全て終了の場合は、**終了** をクリックします。

